



令和3年度 新潟県立図書館年報



新潟県立図書館

目 次

目次	
I 令和3年度 新潟県立図書館の運営基本方針	1
II 令和2年度の取組概況	3
III 管 理	6
1 組織・機構	6
2 事業別予算	8
3 図書館関係費年度別執行状況（最終予算）	8
IV 資料受入状況	9
1 資料費執行明細表	9
2 分類別図書等点数	9
3 受入種類別図書等点数	10
4 雑誌・新聞・法規・追録（継続中）タイトル数	10
5 製本作業の状況	10
6 資料購入状況	10
V 利 用 状 況	11
1 月別利用数	11
2 分類別利用数（貸出冊数）	13
3 年齢別利用数	13
4 遠隔地返却サービス利用数	14
5 障害者サービス利用数	15
6 団体貸出サービス利用数	15
7 レファレンス件数	16
8 館内で利用可能なデータベース一覧	16
VI 協 力 業 務	17
1 資料の貸借状況	17
2 レファレンス状況	17
3 訪問相談・訪問研修の件数	17
4 関係団体一覧	18
5 「新潟県図書館等情報ネットワーク」推進状況	18
6 新潟県内小規模図書館等セット図書長期一括貸出	19
VII この10年の推移	20
1 資料	20
2 利用	20
3 協力業務	20
VIII 令和2年度 事業	21
1 行事	21
2 ギャラリー展示	22
3 閲覧室内展示	23
4 主要刊行物	23
5 オリジナルデータベース	24
6 見学・視察等受入状況	24
7 新潟県立図書館ボランティア	24
IX 令和2年度 研修・会議等	25
1 研修	25
2 会議	25
3 新潟県図書館協会事業	25
4 新潟県読書推進運動協議会事業	25
5 新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会事業	25
X 県立図書館の沿革	26
XI 令和2年度の主な出来事	28
XII 施設等の概要	29
1 施設	29
2 コンピュータ	30
参考資料	
新潟県立図書館規則	31
令和2年度新潟県立図書館運営に対する評価	33

I 令和3年度 新潟県立図書館の運営基本方針

令和3年度の新潟県立図書館の運営は、「新潟県立図書館 運営基本指針 令和3年度～令和5年度」に基づき、3年間の初年度として以下のことに取り組む。

1 地域社会への貢献

県行政との連携を深めた展示や県民共有の文化資産である郷土資料の収集など、より地域社会に貢献する取組に力を入れる。

(1) 県の行政施策と連携した取組

多くの利用者が訪れる図書館の集客力を生かし、県の行政施策を県民に広報する展示を行う。また、試行的に市町村への巡回展示を行う。

(2) 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

郷土資料の出版情報を把握し、より多くの資料収集を目指す。また、越後佐渡デジタルライブラリーや郷土人物/雑誌記事索引データベースなどのデジタル資料の充実を進める。

2 県内図書館への貢献

県内の市町村図書館、県立高等学校図書館等の活動を支援する取組に力を入れる。

(1) 県内図書館等が実施するサービスへの支援

県内図書館等のニーズを把握しながら協力貸出を進めるほか、様々な機会を通じた積極的な訪問を心がけ、お互いに顔の見える関係の構築を目指す。

(2) 県内図書館等職員の人材育成

階層別研修、訪問研修など各種研修を充実させる。また、オンライン研修などの手法を取り入れ、より多くの職員が参加できるよう努める。

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

読書環境を整え、県民の学び続ける意欲を支援するとともに、サービスを支える県立図書館職員の能力育成を図る。

(1) 県民の読書環境の整備

各種利用サービスの改善や、読書に困難のある方へのサービスを充実させることで、県全体の読書環境の向上を目指す。

(2) 県立図書館職員の能力の育成

職員の研修機会を充実させ、能力のレベルアップを図る。

新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～令和5年度）

1 地域社会への貢献

地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。

○県の行政施策と連携した取組

- ・県の行政施策をテーマとした展示の開催
- ・県の重点施策と関連した図書コーナーの設置
- ・県作成のポスター、パンフレット等の掲示・配布

○文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

- ・郷土資料の積極的収集・保存
- ・越後佐渡デジタルライブラリーの充実
- ・郷土人物／雑誌記事索引DBの充実

2 県内図書館への貢献

県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組みます。

○県内図書館等が実施するサービスへの支援

- ・県内図書館等の貸出サービスへの支援
- ・県内図書館等への訪問事業

○県内図書館等職員の人材育成

- ・県内図書館等職員対象の各種研修の開催

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。

○県民の読書環境の整備

- ・読書が困難な県民のための利用環境整備
- ・子どもや若い世代向けの読書推進の取組

○県立図書館職員の能力の育成

- ・県立図書館職員の幅広い分野の研修、セミナー等への派遣

II 令和2年度の取組概況

令和2年度の新潟県立図書館の運営は、「県立図書館としての役割」に重点を置き、図書館サービスの質的な充実を目指して取り組んだ。

その一方で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の影響等により、開館日数は当初予定よりも19日減少するとともに、休館明けの5月中旬以降も制限的な利用が続いたため、個人貸出冊数、入館者数ともに前年度比で若干のマイナスとなった。

1 多様なニーズに対応できる情報サービスの充実

コロナ禍の中でも、多くの県民から親しまれ利用される図書館を目指して、新潟県に関する地域資料など専門分野の図書資料を重点的に整備していくとともに、感染症対応地方創生臨時交付金を活用した蔵書の充実に取り組んだ。

(1) 課題解決の支援

・暮らしと仕事に役立つ情報の提供

各コーナー（暮らしガーデン、第2のオフィス、家庭と子どもの本、CDなど）の資料の充実を図るとともに、閲覧室内のテーマ展示や書架内展示等を行い、利用促進を図った。

また、図書館サービスに付加価値を与える「県立図書館ルネサンス事業」として、感染症防止対策をとりつつ「秋の読書週間記念講演会」、「暮らし応援講座」、「ふるさと講座」「地域映像の上映会」を開催した。

(2) 調査研究の支援

・新潟県に関する地域資料の充実

郷土史研究書や県人作家の著作を始めとする新潟県関係資料を積極的に収集し、県内各機関にも寄贈を依頼するなど、郷土資料の収集に取り組んだ。閲覧室入口付近に設置している「おすすめ郷土資料コーナー」には、郷土出身作家の新刊書を始めとした人気の高い郷土資料を、「新潟ガイドコーナー」には県内観光ガイドブックを配置し、郷土資料の活用を図った。

・専門分野の図書・雑誌の提供

県民の調査研究に資するため、市町村では整備が難しい事典・辞典や統計書などの参考図書を始め、専門的な資料を収集し、提供した。

・調べもの支援サービスの充実

パスファインダー計8点を作成・更新しホームページ上で公開するとともに、館内に設置・配布した。

(3) 読書意欲の喚起

・子どもの読書を推進するための取組の充実

「絵本ワールド in にいがた」（新潟日報社主催）に共催し、感染症防止対策に配慮しながら読み聞かせやペープサートを、図書館職員が実演した。

ユースコーナーでは、近隣の新潟県立新潟江南高等学校の生徒たちが作成したポップを活用するなど情報発信に取り組み、利用促進につなげた。

2 電子図書館サービスの充実

インターネットを活用した、地域的・時間的な制約を超えて利用できるサービスの充実を図るため、デジタルライブラリーや独自データベースの拡充を行うとともに、音楽配信サービスの利用促進に取り組んだ。

(1) 郷土資料の保存と活用（遠隔地利用）の推進

・「越後佐渡デジタルライブラリー」の充実

平成22年度に当館所蔵の貴重資料をデジタル化して公開した「越後佐渡デジタルライブラリー」は、平成23年度に県内市町村図書館等の所蔵資料を掲載対象に加えてリニューアルした。令和2年度は、計51点 約890画像を新規に公開し、合計公開点数は4,383点約95,830画像となった。

・「郷土人物／雑誌記事索引データベース」の充実

「郷土人物索引データベース」では、採録対象タイトルが3点増加して計369点となり、採録した郷土の人物名は4,773件増加し、累計で72,933件となった。

また、「雑誌記事索引データベース」では、419件の記事を追加し、採録誌111誌、記事は累計50,652件となった。

(2) 音楽ライブラリーの利用促進

・無料音楽配信サービスの提供

「音楽ライブラリー」は、クラシックを中心に約200万曲が揃っているインターネット音楽配信サイトを、当館ホームページを経由して提供するサービスである。コロナ禍の影響による閉館時でも利用可能であるため、令和2年度はホームページ上でプレイリストを提供するなど新しい取組による周知に務め、利用促進を図った。

3 県内図書館等との連携協力の推進

県全体の図書館サービス水準の向上を図るため、MLA連携*¹、MALUI連携*²の維持・継続を図るとともに、小規模図書館等へのセット図書の長期一括貸出、訪問研修、訪問相談など、県内公共図書館の支援に取り組んだ。

(1) 県内MLA連携*¹とMALUI連携*²

・「越後佐渡デジタルライブラリー」の充実

令和2年度は、計51点 約890画像を新規に公開し、合計公開点数は4,383点約95,830画像となった。参加館（参加市町村数）は、計15機関（13市町）となっている。

・郷土新聞画像データベースの公開

平成29年3月から、新潟大学等との連携による「いがたMALUI連携・地域データベース」上で、1877（明治10）年4月から1942（昭和17）年10月までの間に発行された郷土新聞の画像データベースの一部公開を行っている。

*¹MLA 連携：博物館（Museum）、図書館（Library）、文書館（Archives）の間で行われる
連携・協力活動

*²MALUI 連携：MLA 連携に、大学（University）、産業界（Industry）が加わって行われる
連携・協力活動

(2) 小規模市町村図書館等への支援

・「小規模図書館等セット図書」の長期一括貸出

平成24年度から、県内の小規模自治体の図書館及び公民館図書室に対して、読書環境の整備と読書推進活動を支援するため、図書（1セット100冊）の長期一括貸出を実施している。

令和2年度は、コロナ禍のため9月から貸出を実施し、合計貸出冊数は、5,200冊（6市町村）であった。貸出先の図書館から学校図書館や高齢者福祉施設への貸出も行われ、間接的な支援にもつながっている。

・訪問相談・訪問研修

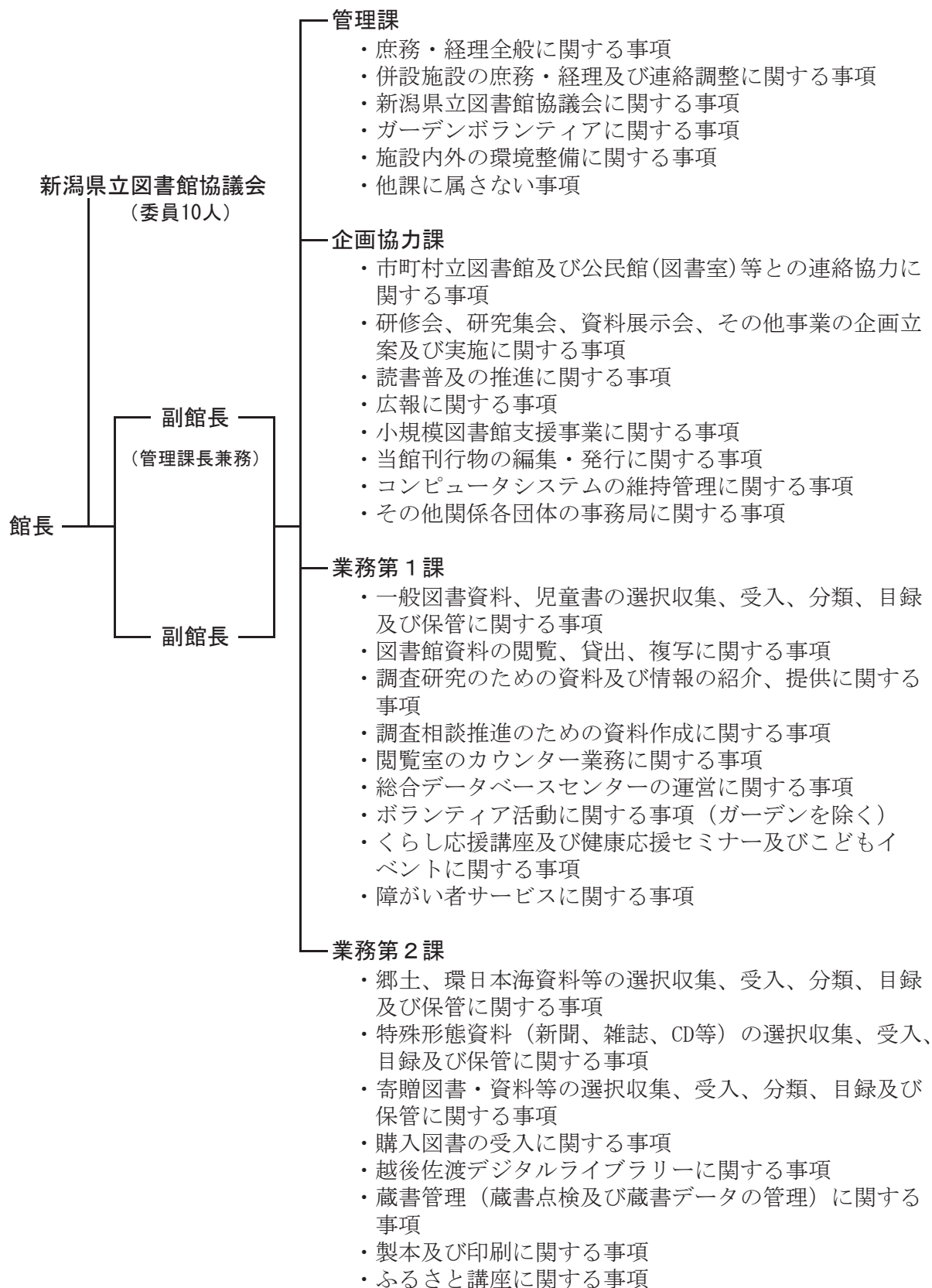
平成4年度から、県内の市町村立図書館・公民館図書室・大学図書館・試験研究機関等を対象に訪問相談・訪問研修を行っている。また、平成25年度下半期から、県立学校の図書館を対象に加えている。

令和2年度の訪問実績は、訪問相談18件（うち県立学校6件）、訪問研修8件の計26件であった。市町村立図書館の訪問相談の内容としては、新型コロナウイルス感染症防止対策、接遇、読書バリアフリー化の取組など多岐にわたっている。また、訪問研修では、レファレンスと資料の修理・保存の基礎等をテーマとして行った。

III 管 理

1 組 織 ・ 機 構

(1) 新潟県立図書館組織図（令和3年4月1日現在）



(2) 職員構成（令和3年4月1日現在）

課名 区分	管理課		企画協力課		業務第1課		業務第2課		計		
	司書	事務職等	司書	事務職等	司書	事務職等	司書	事務職等	司書	事務職等	合計
正 規		5	4		9		6	1	19	6	25
臨 時					2	7	1		3	7	10
計	0	5	4	0	11	7	7	1	22	13	35

*このほかに平日（17～19時）及び土日曜・祝日は閲覧カウンター業務委託 4～5名

(3) 新潟県立図書館協議会（令和3年3月31日現在）

ア 協議会委員（任期 令和2年8月1日～令和4年7月31日）

氏 名（五十音順）	所 属 ・ 職 名
朝 日 仁 美	公募
猪 俣 清 子	社会福祉法人愛稚会 翠松保育園 園長
◎荻 原 幸 子	専修大学経営学部 教授
小 島 秀 雄	新潟大学附属図書館 館長 新潟大学理学部 教授
斎 藤 義 樹	新潟県視覚障害者情報センター センター長
高 橋 郁 丸	漫画家
鶴 田 邦 子	公募
西 條 正 人	新潟県学校図書館協議会 理事
○吉 田 英津子	新潟市立中央図書館 館長
渡 辺 剛	新潟県高等学校図書館協議会 地区理事

◎委員長 ○副委員長

イ 令和2年度協議会開催状況

(ア)第1回（令和2年9月29日開催）

- 1 令和元年度新潟県立図書館運営に対する評価（報告）について
- 2 令和2年度新潟県立図書館運営に対する評価項目（案）について

(イ)第2回（令和3年1月27日開催）

- 1 新潟県立図書館運営基本指針について
- 2 新潟県立図書館の今後の運営について

(ウ)第3回（令和3年3月19日開催）

- 1 令和2年度新潟県立図書館運営に対する評価（案）について
- 2 新潟県立図書館運営基本指針及び行動計画（令和3～5年度）（案）について

2 事業別予算

(単位：千円)

事業項目		令和3年度当初予算(案) 額 (A)	令和2年度当初予算額 (B)	予算の増減額 (A) - (B)
図 書 館 資 料 費	資料購入費	27,343	32,136	△ 4,793
	その他の資料費	4,370	4,370	0
	小計	31,713	36,506	△ 4,793
職員費		189,613	203,001	△ 13,388
図書館運営費		17,520	17,511	9
審議会開催費		252	235	17
維持管理費		106,832	108,055	△ 1,223
図書館資料等複写費		3,506	3,506	0
県立図書館職員研修費		122	121	1
環日本海図書館交流費		81	81	0
図書館情報化推進費		427	427	0
図書館等庁舎維持補修費		3,032	3,346	△ 314
図書館国際化推進費		40	40	0
図書館ルネサンス事業費		501	501	0
県立図書館広域サービス充実事業		2,622	2,655	△ 33
関東・甲信越静岡地区図書館 地区別研修会		753	0	753
県立図書館等改修費		32,965	32,032	933
合計		(200,366)	(205,016)	△ 4,650
		389,979	408,017	△ 18,038

* () 内は職員費を除いた金額

3 図書館関係費年度別執行状況(最終予算)

(単位：千円)

年度	図書館費 (うち資料購入費)	
19	243,288	(57,000)
20	227,600	(50,000)
21	232,332	(53,000)
22	226,774	(59,000)
23	206,770	(51,635)
24	204,792	(51,956)
25	199,634	(52,000)
26	207,612	(52,053)
27	208,887	(52,053)
28	305,218	(52,053)
29	399,152	(52,053)
30	302,389	(56,004)
元	200,691	(45,500)
2	178,526	(38,968)

IV 資料受入状況

1 資料費執行明細表（令和2年度）

種 別		金 額 (円)	合 計	
資 料	一 般 資 料	25,981,439	8,400	冊
	郷 土 資 料	2,257,193	513	冊
	日 本 海 資 料	531,621	160	冊
	児 童 資 料	1,392,766	729	冊
	小 計	30,163,019	9,802	冊
購 入	音 声 ・ 映 像 資 料	109,899	32	点
	マ イ ク ロ フ ィ ル ム	192,599	19	点
	地 図	0	0	枚
	新 聞 ・ 雑 誌	5,149,255	391	種
	追 録	606,104	3	種
	そ の 他	0	0	点
	小規模図書館支援用資料	3,859	3	冊
合 計		36,224,735		

※補充用のみ

2 分類別図書等点数

（雑誌・新聞を除いた点数 ただし製本したものは図書扱い）

区 分	分 類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	うち 外国語	
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	語学	文学			
令和元年度末蔵書冊数		100,510	45,634	119,797	213,208	69,144	67,186	57,715	81,686	14,531	153,359	922,770	9,506	
令和2年度末	受入	一般	530	410	1,045	2,151	950	921	602	946	185	2,332	10,072	0
		郷土	222	61	563	1,735	163	399	480	289	7	227	4,146	0
		日本海	5	4	28	156	9	11	8	20	1	24	266	82
		児童	16	3	2	36	44	11	4	403	0	211	730	0
		図書計	773	478	1,638	4,078	1,166	1,342	1,094	1,658	193	2,794	15,214	82
		AV資料	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	32	0
		合計	773	478	1,638	4,078	1,166	1,342	1,094	1,690	193	2,794	15,246	82
	除籍	一般	55	2	1	51	48	18	11	6	18	1	211	0
		郷土	2	0	6	0	0	0	0	2	0	0	10	0
		日本海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		児童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		図書計	57	2	7	51	48	18	11	8	18	1	221	0
		AV資料	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	0
合計		57	2	7	51	48	18	11	15	18	1	228	0	
蔵書冊数	一般	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	731,903	—	
	郷土	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	132,656	—	
	日本海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15,555	—	
	児童	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52,173	—	
	図書計	101,226	46,108	121,428	217,235	70,262	68,510	58,798	78,296	14,700	155,724	932,287	9,588	
	AV資料	0	2	0	0	0	0	0	5,065	6	428	5,501	0	
	合計	101,226	46,110	121,428	217,235	70,262	68,510	58,798	83,361	14,706	156,152	937,788	9,588	

3 受入種類別図書等点数(令和2年度)

受入別	区分	購入	寄贈	編入	その他	計
図書		9,802	5,044	368	0	15,214
音声・映像資料		32	0	0	0	32
計		9,834	5,044	368	0	15,246

4 雑誌・新聞・法規・追録(継続中)タイトル数(令和2年度)

受入別	区分	雑誌	新聞	法規・追録	計
購入		366	25	3	394
寄贈		1,061	21	1	1,083
計		1,427	46	4	1,477

5 製本作業の状況

区分	館内	外注	
製本冊数	元年度	279	302
	2年度	308	233

6 資料購入状況

年 度	図書資料購入状況							参考	
	図 書			音声・ 映像資料 (金額)	新聞雑誌 及び追録等 (金額)	計 (金額)	対前 年度比	新刊書籍 発行点数	発行 点数 に 対 す る 購 入 数 に 対 す る 対 率
	冊数	金額	平均単価						
19	13,756	48,175,535	3,502	0	7,241,989	55,417,524	98.9	80,595	17.1
20	14,947	37,235,024	2,491	1,742,548	6,937,552	45,915,124	82.9	79,917	18.7
21	18,120	38,208,556	2,109	3,844,237	7,568,157	49,620,950	108.1	80,776	22.4
22	19,226	45,593,044	2,371	1,942,983	8,110,507	55,646,534	112.1	78,354	24.5
23	14,273	37,383,547	2,619	1,025,530	7,493,634	45,902,711	82.5	78,902	18.1
24	12,855	37,011,633	2,879	1,118,924	7,108,286	45,238,843	98.6	82,204	15.6
25	14,264	36,372,502	2,550	1,540,513	6,892,743	44,805,758	99.0	82,589	17.3
26	15,524	37,430,156	2,411	1,423,395	6,528,876	45,382,427	101.2	80,954	19.2
27	16,264	38,396,790	2,361	1,468,222	6,422,631	46,287,643	102.0	80,048	20.3
28	15,093	38,539,516	2,553	1,393,595	6,499,310	46,432,421	100.3	78,113	19.3
29	15,148	39,039,580	2,577	1,349,588	6,420,426	46,809,594	100.8	75,412	20.1
30	15,407	41,850,678	2,716	1,362,452	6,585,175	49,798,305	106.4	71,661	21.5
元	11,108	29,104,172	2,620	636,854	6,532,455	36,273,481	72.8	71,903	15.4
2	9,802	30,163,019	3,077	109,899	5,755,359	36,028,277	99.3	(6月末現在)	不明)

※「新刊書籍発行点数」は、29年度値までは『出版年鑑』、30年度値からは『出版指標年報』による。

V 利用状況

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から5月18日まで臨時休館)

1 月別利用数 ※令和2年4月・5月の開館日数及び入館者数は、エントランスで予約資料の貸出のみ行った日数・利用

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
開館日数	2年度	17	18	25	27	27	27	27		
	元年度	26	27	20	27	28	27	28		
入館者数	総数	2年度	6,819	9,907	20,350	26,790	31,087	29,965	27,428	
		元年度	35,198	39,075	31,136	38,909	48,131	39,790	38,788	
	内訳	閲覧室	2年度	6,819	9,907	20,350	26,790	31,087	29,933	27,376
			元年度	34,933	38,674	30,461	38,244	47,625	39,413	37,240
	行事	2年度	0	0	0	0	0	32	52	
		元年度	265	401	675	665	506	377	1,548	
登録者数	2年度	24	217	301	358	410	293	269		
	元年度	460	415	344	473	543	359	369		
貸出人数	2年度	1,778	4,506	8,062	13,762	14,103	13,568	14,078		
	元年度	15,764	15,470	12,082	15,926	16,161	14,909	15,887		
貸出冊数	図書・雑誌	一般	4,227	12,326	19,771	30,526	31,030	29,729	30,711	
		郷土	82	441	687	1,113	1,050	1,085	1,147	
		2年度	35	88	161	206	231	201	217	
		児童	406	1,864	3,316	5,749	7,102	5,909	6,483	
		計	4,750	14,719	23,935	37,594	39,413	36,924	38,558	
	AV資料	2年度	288	1,074	1,791	2,557	2,336	2,385	2,490	
	総計	2年度	5,038	15,793	25,726	40,151	41,749	39,309	41,048	
		元年度	47,297	45,546	37,112	46,645	47,607	44,007	46,842	
予約件数	2年度	3,977	5,574	3,310	3,760	3,477	3,269	3,277		
	元年度	2,421	2,224	2,280	2,766	2,604	2,565	2,515		
レファレンス件数	口頭	2年度	0	0	0	932	1,280	1,300	1,463	
		元年度	856	1,330	799	413	277	255	341	
	電話	2年度	91	178	291	85	117	105	180	
		元年度	947	1,508	1,090	1,430	1,674	1,660	1,984	
文書・FAX・メール	2年度	947	1,508	1,090	1,430	1,674	1,660	1,984		
	元年度	1,492	1,342	1,074	1,613	1,722	1,551	1,734		
複写枚数	2年度	148	2,191	4,295	5,847	7,725	7,607	6,841		
	元年度	5,572	7,688	6,301	7,747	8,369	8,105	7,671		
インターネット	接続回数	2年度	36,642	46,782	30,952	31,758	31,348	20,106	18,924	
		元年度	27,907	28,814	27,893	30,081	30,789	28,727	30,668	
	検索回数	自館	2年度	98,238	106,046	113,775	105,264	102,157	95,033	91,780
			元年度	89,638	95,687	88,169	88,275	83,454	84,528	93,222
	横断検索	2年度	13,139	12,938	14,831	17,159	16,572	15,947	15,852	
		元年度	12,873	14,165	13,176	15,757	13,708	15,311	17,468	
携帯電話	検索回数	2年度	3,481	5,256	3,532	4,210	5,847	3,894	4,225	
		元年度	2,582	2,680	2,489	2,826	2,941	3,100	3,081	

* 「新潟県立図書館年報 2007」(2008年発行)より行事参加数を入館者数として掲げています。

者数を含む

11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均	対前年比	区分	
26	24	25	18	26	287		100.7%	開館日数	
27	24	24	26	1	285				
28,345	22,748	20,438	20,555	26,309	270,741	943.3	65.4%	総数	
40,159	30,450	32,720	38,254	1,606	414,216	1,453.4			
28,288	22,632	20,438	20,555	26,168	270,343	942.0	66.5%	閲覧室	内訳
38,017	30,009	32,393	37,887	1,606	406,502	1,426.3			
57	116	0	0	141	398		5.2%	行事	
2,142	441	327	367	0	7,714				
300	199	214	221	277	3,083	10.7	71.3%	登録者数	
355	289	329	369	20	4,325	15.2			
13,778	13,234	12,622	10,550	14,458	134,499	468.6	79.4%	貸出人数	
15,244	14,117	14,444	16,183	3,140	169,327	594.1			
29,430	29,605	28,168	24,150	31,801	301,474	1,050.4	80.3%	一般	図書・雑誌
1,080	981	988	737	1,110	10,501	36.6	82.9%	郷土	
220	188	116	85	172	1,920	6.7	71.2%	日本海	
7,041	6,934	6,504	5,481	7,451	64,240	223.8	82.3%	児童	
37,771	37,708	35,776	30,453	40,534	378,135	1,317.5	80.6%	計	
2,401	2,226	1,886	1,604	2,315	23,353	81.4	69.4%	AV資料	
40,172	39,934	37,662	32,057	42,849	401,488	1,398.9	79.9%	総計	
45,145	43,688	43,245	48,668	6,793	502,595	1,763.5			
3,312	3,601	3,250	3,126	3,421	43,354	151.1	148.4%	予約件数	
2,416	2,691	2,489	2,712	1,533	29,216	102.5			
1,223	1,072	960	847	1,152	10,229	35.6	73.5%	口頭	レファレンス件数
244	250	232	173	241	5,411	18.9	264.7%	電話	
106	96	235	250	158	1,892	6.6	233.3%	文書・FAX・メール	
1,573	1,418	1,427	1,270	1,551	17,532	61.1	104.5%	合計	
1,363	1,391	1,479	1,688	328	16,777	58.9			
6,081	4,502	3,229	3,469	5,465	57,400	200.0	68.6%	複写枚数	
9,650	6,613	7,546	7,841	562	83,665	293.6			
17,089	16,752	17,016	16,972	16,925	301,266	825.4	83.2%	接続回数	
27,029	27,810	28,906	30,238	43,390	362,252	989.8			
92,089	103,745	109,318	101,697	105,237	1,224,379	3,354.5	112.5%	自館	検索回数
91,489	98,254	94,089	89,207	92,512	1,088,524	2,974.1			
14,303	13,167	15,843	14,708	16,260	180,719	495.1	104.1%	横断検索	
15,540	13,207	13,883	13,958	14,549	173,595	474.3			
4,186	3,805	4,123	4,143	4,579	51,281	140.5	151.8%	検索回数	
2,855	2,644	3,090	3,321	2,173	33,782	92.3			

2 分類別利用数（貸出冊数）

区分		分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	語学	文学		
図書・雑誌	一般	R2	13,205	13,511	21,862	39,262	25,981	46,978	12,494	29,449	5,167	93,565	301,474
		比率	(4.4)	(4.5)	(7.3)	(13.0)	(8.6)	(15.6)	(4.1)	(9.8)	(1.7)	(31.0)	(100.0)
	郷土	R2	100	400	4,082	961	241	1,280	462	946	55	1,974	10,501
		比率	(1.0)	(3.8)	(38.8)	(9.2)	(2.3)	(12.2)	(4.4)	(9.0)	(0.5)	(18.8)	(100.0)
	日本海	R2	20	17	211	1,456	51	47	78	21	5	14	1,920
		比率	(1.0)	(0.9)	(11.0)	(75.8)	(2.7)	(2.4)	(4.1)	(1.1)	(0.3)	(0.7)	(100.0)
	児童	R2	320	365	736	1,061	4,563	1,514	763	47,166	150	7,602	64,240
		比率	(0.5)	(0.6)	(1.1)	(1.7)	(7.1)	(2.4)	(1.2)	(73.4)	(0.2)	(11.8)	(100.0)
	計	R2	13,645	14,293	26,891	42,740	30,836	49,819	13,797	77,582	5,377	103,155	378,135
		比率	(3.6)	(3.8)	(7.1)	(11.3)	(8.2)	(13.2)	(3.6)	(20.5)	(1.4)	(27.3)	(100.0)
R1		16,141	17,409	41,378	53,292	35,606	64,310	17,252	97,229	7,252	119,079	468,948	
△V資料	R2	0	0	0	0	0	0	0	23,353	0	0	23,353	
	R1	0	0	0	0	0	0	0	33,647	0	0	33,647	
合計	R2	13,645	14,293	26,891	42,740	30,836	49,819	13,797	100,935	5,377	103,155	401,488	
	比率	(3.4)	(3.6)	(6.7)	(10.6)	(7.7)	(12.4)	(3.4)	(25.1)	(1.3)	(25.8)	(100.0)	
	R1	16,141	17,409	41,378	53,292	35,606	64,310	17,252	130,876	7,252	119,079	502,595	

3 年齢別利用数

区分		年齢	～10	～20	～30	～40	～50	～60	～70	～80	81～	合計
貸出冊数	一般	R2	5,540	10,063	18,194	35,436	58,524	49,626	67,799	49,659	6,633	301,474
		比率	(1.8)	(3.3)	(6.0)	(11.8)	(19.4)	(16.5)	(22.5)	(16.5)	(2.2)	(100.0)
	郷土	R2	158	155	511	850	1,744	1,488	2,650	2,459	486	10,501
		比率	(1.5)	(1.5)	(4.9)	(8.1)	(16.6)	(14.2)	(25.2)	(23.4)	(4.6)	(100.0)
	日本海	R2	5	109	253	88	302	215	445	446	57	1,920
		比率	(0.3)	(5.7)	(13.2)	(4.6)	(15.7)	(11.2)	(23.1)	(23.2)	(3.0)	(100.0)
	児童	R2	17,741	1,164	3,335	24,312	12,626	1,624	2,106	1,315	17	64,240
		比率	(27.6)	(1.8)	(5.2)	(37.8)	(19.7)	(2.5)	(3.3)	(2.0)	(0.1)	(100.0)
	計	R2	23,444	11,491	22,293	60,686	73,196	52,953	73,000	53,879	7,193	378,135
		比率	(6.2)	(3.0)	(5.9)	(16.0)	(19.5)	(14.0)	(19.3)	(14.2)	(1.9)	(100.0)
△V資料	R2	431	440	686	1,967	3,810	4,018	7,586	3,859	556	23,353	
	比率	(1.8)	(1.9)	(2.9)	(8.4)	(16.3)	(17.2)	(32.6)	(16.5)	(2.4)	(100.0)	
合計	R2	23,875	11,931	22,979	62,653	77,006	56,971	80,586	57,738	7,749	401,488	
	比率	(5.9)	(3.0)	(5.7)	(15.6)	(19.2)	(14.2)	(20.1)	(14.4)	(1.9)	(100.0)	
	R1	29,679	13,455	26,905	87,804	99,793	67,975	106,023	63,566	7,395	502,595	
貸出人 数	R2	5,428	4,136	8,902	18,344	26,262	21,395	28,715	18,858	2,459	134,499	
	比率	(4.0)	(3.1)	(6.6)	(13.6)	(19.6)	(15.9)	(21.4)	(14.0)	(1.8)	(100.0)	
	R1	7,327	4,702	10,376	26,674	34,232	25,399	37,308	20,750	2,559	169,327	
登録者 数	R2	227	268	523	576	591	355	343	178	22	3,083	
	比率	(7.4)	(8.7)	(17.0)	(18.7)	(19.1)	(11.5)	(11.1)	(5.8)	(0.7)	(100.0)	
	R1	285	382	591	819	868	512	552	270	46	4,325	

4 遠隔地返却サービス利用冊数(令和2年度)

※遠隔地返却サービスは、令和3年2月9日から再開

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
上越市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	12	上越合計 12冊 (8件)	
糸魚川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
妙高市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
長岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	9	39	中越合計 130冊 (25件)	
三条市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	23	29		
柏崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	11		
小千谷市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
加茂市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7		
十日町市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3		
見附市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5		
魚沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20		
南魚沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6		
出雲崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
刈羽村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
田上町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10		
湯沢町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
津南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
新発田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	17		下越合計 112冊 (29件)
村上市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	35	55		
燕市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19		
五泉市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	9	21		
阿賀野市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
胎内市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
聖籠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
弥彦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
阿賀町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
関川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
粟島浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
佐渡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0件)	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	111	143	254	(62件)	

5 障害者サービス利用数(令和2年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対面朗読 (人数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
サピエ図書館 (タイトル数)	10	36	16	16	8	16	14	16	16	26	8	16	198

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度の対面朗読サービスは休止

6 団体貸出サービス利用数(令和2年度)

貸出冊数

団体区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	登録団体数
A	10	51	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	117	1
B	0	0	92	43	42	44	74	50	38	53	57	61	554	7
合計	10	51	148	43	42	44	74	50	38	53	57	61	671	8

A…読書場の場づくり支援サービス

(個人での図書館利用が困難な方が入所・所属する団体の読書環境を支援するサービス)

B…子どもの読書普及活動支援サービス

(子ども向けの読書普及活動を行う団体の活動内容の充実を支援するサービス)

7 レファレンス件数（令和2年度）

（1）分類別件数

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	郷土	日本海	合計	一日 平均
口頭	349	354	791	1,161	582	536	250	1,258	89	2,544	2,235	80	10,229	35.6
電話	614	180	370	584	346	291	105	616	48	1,404	832	21	5,411	18.9
文書	23	3	27	27	17	20	9	52	0	65	189	7	439	1.5
FAX	4	1	28	10	12	6	8	15	0	13	85	3	185	0.6
メール	13	13	37	55	11	3	2	24	54	27	1,023	6	1,268	4.4
合計	1,003	551	1,253	1,837	968	856	374	1,965	191	4,053	4,364	117	17,532	61.1
（比率）	（5.7）	（3.1）	（7.1）	（10.5）	（5.5）	（4.9）	（2.1）	（11.2）	（1.1）	（23.1）	（25.0）	（0.7）	（100.0）	
元年度	806	615	1,496	1,998	912	898	461	2,390	268	3,232	3,585	116	16,777	58.9
（比率）	（4.8）	（3.7）	（8.9）	（11.9）	（5.4）	（5.4）	（2.7）	（14.2）	（1.6）	（19.3）	（21.4）	（0.7）	（100.0）	

（2）調査種別件数

所蔵調査	10,912
所蔵機関調査	919
書誌的事項調査	158
簡易な事実調査	659
文献紹介	4,647
その他	237
合計	17,532

（3）時間別件数

即答	16,630
30分程度	528
1時間程度	120
2時間程度	49
4時間程度	50
1日以上	155
合計	17,532

- 注） 所蔵調査 : ある特定の文献の当館での所蔵の有無の調査
 所蔵機関調査 : ある特定の文献を所蔵する他の機関の調査
 書誌的事項調査 : ある特定の文献の著者名・書名・出版者・出版年等の調査
 簡易な事実調査 : 基本的なレファレンスブックを利用して回答できる程度の事実調査
 文献紹介 : ある主題についての文献の紹介および文献を利用して行う調査
 その他 : 複写依頼等の上記にあてはまらないこと

8 館内で利用可能なデータベース一覧

令和3年3月末現在

データベース名	内容
官報情報検索サービス	官報情報検索データベース
聞蔵Ⅱビジュアル	朝日新聞記事検索データベース
D1-Law.Com 第一法規法情報	法律情報検索データベース
新潟日報記事データベース	新潟日報記事検索データベース
にいがた MALUI連携・地域 データベース	新潟県内の文化資源の統合型データベース（新聞・地域映像）
日経テレコン21	ビジネス情報検索データベース
毎索	毎日新聞記事検索データベース
ヨミダス歴史館	読売新聞記事検索データベース

※「ジャパンナレッジlib」及び「マガジンプラス」は、令和2年3月をもって提供を終了

VI 協力業務

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から5月18日まで臨時休館)

1 資料の貸借状況

館種別	年度	県内※							県外			合計	
		公立図書館		公民館図書室	大学図書館	試験研究機関等	学校図書館等	計	国立国会図書館	公立図書館	その他		
		新潟市	新潟市以外										
資料貸出冊数	相互貸借	R2	656	5,675	84	446	252	44	7,157		268	6	7,431
		R1	780	5,903	90	864	150	13	7,800		216	1	8,017
	一括貸出	R2		3,200	2,000				5,200				5,200
		R1		5,700	2,900				8,600				8,600
	計	R2	656	8,875	2,084	446	252	44	12,357		268	6	12,631
		R1	780	11,603	2,990	864	150	13	16,400		216	1	16,617
資料借受冊数		R2	135	9	0	73	0	0	217	4	31	7	259
		R1	200	19	0	50	0	0	269	10	35	13	327

*臨時休館中、相互貸借による他の図書館等への資料貸出は通常どおり行った。

2 レファレンス状況

館種別	国立国会図書館	公立図書館		公民館図書室	大学・短大図書館		学校図書館等	試験研究機関等	R2年度合計	R1年度合計
		県内	県外		県内	県外				
レファレンス受付件数	0	64	31	2	3	10	9	45	164	136
レファレンス依頼件数	13	11	5	2	0	3	1	4	39	42

3 訪問相談・訪問研修の件数（令和2年度）

(1) 訪問相談（訪問総数：18件） ※上半期は4～9月、下半期は10～3月。

館種	時期	訪問先	件数	相談事例
公立図書館	上半期	聖籠町	1	<ul style="list-style-type: none"> ・予算 ・安全管理 ・新型コロナウイルス感染防止対策 ・接遇 ・利用者用館内端末の利用 ・人権・同和問題に関する資料提供 ・「読書バリアフリー」化の取組み ・子どもの読書推進計画 ・蔵書構成 ・資料保存、管理 ・資料の並べ方 ・相互貸借 ・県内図書館職員向けの研修や会議の開催方法
	下半期	小千谷市、糸魚川市、燕市、刈羽村、村上市、上越市、佐渡市、魚沼市、見附市	9	
公民館図書室	上半期	なし		<ul style="list-style-type: none"> ・相互貸借
	下半期	湯沢町	1	
大学・短大図書館	上半期	なし		
	下半期	なし		
試験研究機関等	上半期	なし		<ul style="list-style-type: none"> ・資料保存（合冊製本）
	下半期	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団	1	
県立学校図書館	上半期	東新潟地区司書連絡会、高田南城	2	<ul style="list-style-type: none"> ・選書 ・図書の受入、整理 ・図書の保存、修理方法 ・図書の除籍、廃棄 ・蔵書点検 ・利用促進の事例紹介 ・異動時の引継ぎ ・課外活動と著作権 ・県立図書館の学校図書館支援
	下半期	小出、新潟、羽茂、国際情報	4	

(2) 訪問研修（訪問件数：8件、参加総数：96名） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、参加人数に制限あり

訪問先	期日	内容	参加者数
長岡市立中央図書館	7月31日（金）	レファレンス研修（新任者向けの講義と演習）	28名
新潟大学附属中央図書館	9月3日（木）	資料の修理や保存の基礎（講義、実習）	16名
新潟市立中央図書館	10月1日（木）	レファレンス研修（新任者向けの講義と演習）	8名
三条市立図書館	10月30日（金）	レファレンス研修（新任者向けの講義と演習）	3名
新潟市立中央図書館	12月2日（水）	レファレンス研修（中級者向けの郷土に関する内容）	19名
南魚沼市図書館	1月21日（木）	資料の修理や保存の基礎（講義、実習）	10名
十日町情報館	2月22日（月）	レファレンス研修（新任者向けの講義と演習）	6名
三条市立図書館	2月24日（水）	資料の修理や保存の基礎（講義、実習）	6名

(3) 訪問セミナー:テーマ「地域資料の収集と活用」（訪問件数：2件、参加総数：7名）

※令和2年度下半期から試行的に開始

訪問先	期日	参加者数
長岡市立中央図書館	3月4日（木）	5名
新潟市立豊栄図書館	3月11日（木）	2名

4 関係団体一覧（令和3年3月31日現在）

名称	構成員	事業目的	事務局
新潟県図書館協会	・ 県内公立図書館 ・ // 公民館	県内図書館事業の進歩発展と本県文化の振興への寄与	当館 企画協力課
新潟県読書推進運動協議会	・ 県内公立図書館 ・ // 公民館 ・ 学校図書館 ・ 新聞社、放送局等報道機関 ・ 書店組合等出版関係団体 ・ その他関係団体	読書普及の推進と本県文化の発展への寄与	当館 企画協力課
新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会	・ 県内公立図書館協議会	県内公立図書館協議会委員相互の連絡と、県内図書館の発展への寄与	当館 企画協力課

<当館加盟団体一覧>

- ・ 日本図書館協会
- ・ 全国公共図書館協議会
- ・ 関東地区公共図書館協議会（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡）
- ・ 北陸地区県立図書館長会（福井、石川、富山、新潟）

5 「新潟県図書館等情報ネットワーク」推進状況（令和3年3月31日現在）

(1) 事業目的

各構成機関の所蔵資料や情報等の有効活用ならびに相互の連携・協力によるサービスの向上

(2) 構成機関

館種	公立図書館	公民館図書室	大学・短大図書館	試験研究機関等	合計
参加館数	46	7	23	10	86

※視覚障害者情報センターの数値データは試験研究機関に含む

6 新潟県内小規模図書館等セット図書長期一括貸出（令和2年度）

貸出市町村：6市町村 貸出総数：5,200冊

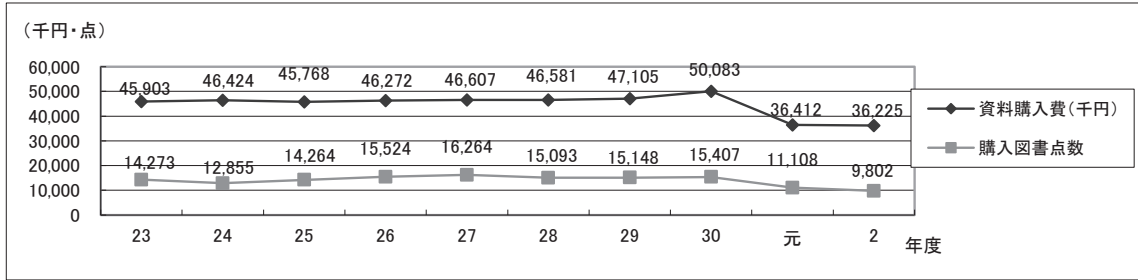
※コロナ禍のため5月予定の第1回貸出を9月に延期の上実施

回数 貸出期間	セット名	第1回	第2回
		10.9～1.15	2.12～5.14
1	児童書定番セット1	関川村公民館	十日町図書館
2	児童書定番セット2	出雲崎町立出雲崎図書館	関川村公民館
3	児童書児童図書賞受賞セット1	加茂市立図書館	関川村公民館
4	児童書児童図書賞受賞セット2	十日町図書館	出雲崎町立出雲崎図書館
5	児童書児童図書賞受賞セット3	十日町図書館	関川村公民館
6	児童書児童図書賞受賞セット4	加茂市立図書館	加茂市立図書館
7	児童書調べものセット1	加茂市立図書館	関川村公民館
8	児童書調べものセット2	加茂市立図書館	加茂市立図書館
9	児童書調べものセット3		
10	児童書科学セット1	関川村公民館	十日町図書館
11	児童書科学セット2	加茂市立図書館	関川村公民館
12	小学生低学年向け読み物セット【新規】	加茂市立図書館	加茂市立図書館
13	YA朝読セット1	十日町図書館	加茂市立図書館
14	YA朝読セット2	関川村公民館	十日町図書館
15	YA朝読セット3	十日町図書館	加茂市立図書館
16	くらしセット1	魚沼市立小出郷図書館	加茂市立図書館
17	くらしセット2	関川村公民館	
18	アウトドアセット1	加茂市立図書館	加茂市立図書館
19	アウトドアセット2	関川村公民館	加茂市立図書館
20	インドアセット1	阿賀町公民館	阿賀町公民館
21	インドアセット2	加茂市立図書館	加茂市立図書館
22	体と心の健康セット1	加茂市立図書館	阿賀町公民館
23	体と心の健康セット2	関川村公民館	加茂市立図書館
24	高齢者福祉セット1		
25	高齢者福祉セット2		加茂市立図書館
26	いきいき終活セット1	阿賀町公民館	関川村公民館
27	いきいき終活セット2	加茂市立図書館	加茂市立図書館
28	ビジネス支援セット1	関川村公民館	関川村公民館
29	ビジネス支援セット2	関川村公民館	関川村公民館

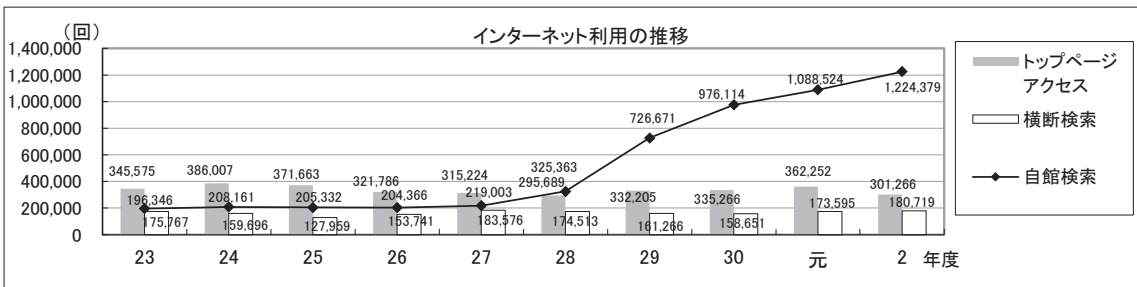
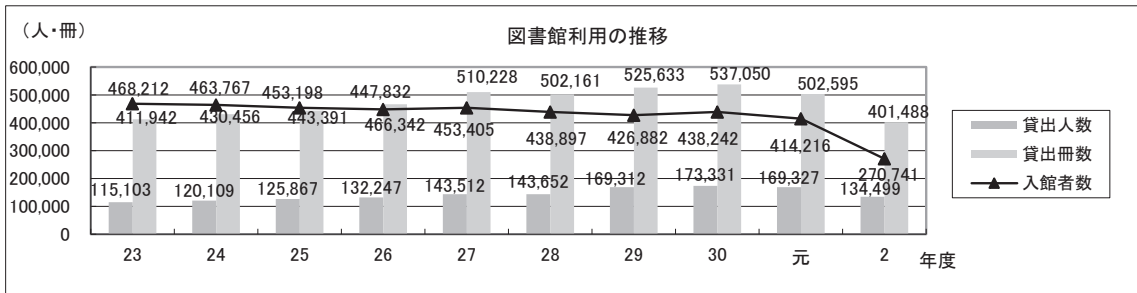
VII この10年の推移

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から5月18日まで臨時休館)

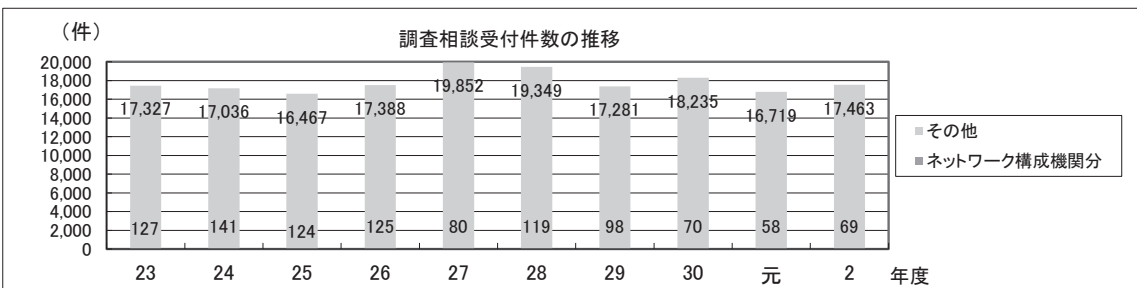
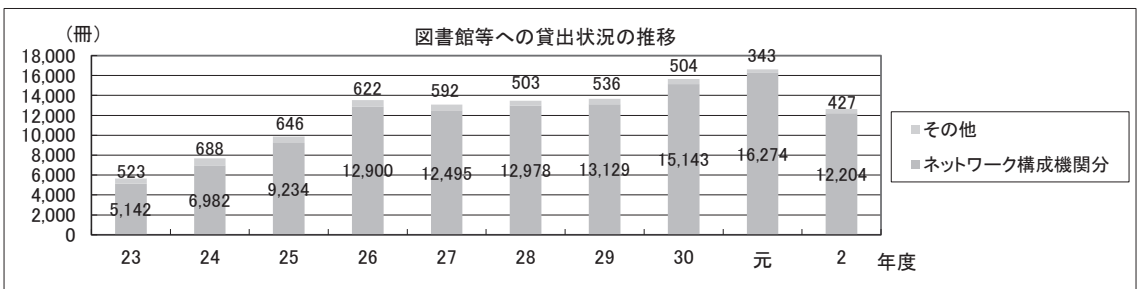
1 資料



2 利用



3 協力業務



VIII 令和2年度 事業

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から5月18日まで臨時休館)

1 行事

(1) 県立図書館ルネサンス事業 (参加総数 48名)

図書館には、個人や地域の抱える身近な課題に対応し、具体的な課題解決を支援する機能が求められている。これに応えるため「人づくり」「地域づくり」「県全体の図書館機能づくり」の視点から「役に立つ図書館」となるための具体的な取組を実施する。

名称	期日	内容	参加者数
秋の読書週間記念講演会	11月7日(土)	「縄文人の生活～火焰型土器・ヒスイ文化・栗(謎解明の鍵!)～」 講師: 荒川隆史氏(公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団) 会場: 村上市教育情報センター	22名
くらし応援講座 第38回	11月20日(金)	「草創期の世界の絵本～新潟県立図書館コレクション案内～」 講師: 平田ひろみ(新潟県図書館 副館長)	12名
インターネットde ふるさと講座	1月26日 (火) ～ 2月26日 (金)	「新潟県立図書館所蔵史料から明治の「新潟」をたどる」 講師: 本井晴信氏(元新潟県立文書館副館長) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テキストベースでの開催。	ページ ビュー 113名
地域映像の 上映会	12月4日(金)	越後佐渡・伝統工芸の世界 「無名異焼—五代伊藤赤水のわざ—」 「越後上布」	14名

(2) こども図書室のイベント (参加総数 0名)

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全てのこども図書室イベントを休止した。

名称	日時	内容	開催回数	参加者数
こども図書室イベント 「絵本と工作を楽しもう」	毎週金曜日 午前	絵本と工作を楽しむミニイベント	—	—
こども図書室イベント 「0・1・2歳のための はじめての絵本と手遊び」	毎週金曜日 午後	0～2歳児向けの絵本と手遊び・わらべうたを楽しむミニイベント	—	—
ボランティアと楽しむ “わらべうた”と絵本	毎月第2土曜日	ボランティアといっしょに「絵本の読み聞かせ」や「わらべうた」「手遊び」を楽しむイベント	—	—
ボランティアといっしょに 図書館の絵本を楽しもう	毎月第4日曜日 (8月は毎週日曜日開催)	ボランティアといっしょに「絵本の読み聞かせ」や「わらべうた」「手遊び」を楽しむイベント	—	—

(3) その他のイベント

名称	期日	内容／主催	参加者数
絵本 ワールド inにいがた	3月27日(土)	読み聞かせなど 会場:朱鷺メッセ (主催:新潟日报社)	78名
読書の秋 本の おすそわけ	11月1日(日) ～11日(水)	前年までの古本再生市用に寄贈された文庫本、新書をジャンル分けし、2冊1セットにして来館者に配布した。	1,000セット (2,000冊) 配布
季節の 上映会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上映会(県立生涯学習推進センター)の定員が制限されていることを受け、連携は休止		
古本再生市	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず		

2 ギャラリー展示

※ギャラリー展示は令和2年10月7日から再開

開催期間	展示テーマ	主催者
10月7日～10月18日	第10回 互彩会水彩画展	互彩会
10月21日～11月3日	水彩スケッチ 越の風に吹かれて	高橋耿平氏
11月5日～11月8日	ハンセン病 写真パネル展	新潟県福祉保健部健康対策課
11月11日～11月23日	北陸の食文化	北陸地区県立図書館長会、新潟県立図書館
11月25日～12月6日	見て、聴いて、楽しむ！バリアフリー読書	新潟県立図書館
12月9日～12月27日	四季折々の花	小出好子氏
1月5日～1月17日	新春掛軸展	新潟県立図書館
1月20日～1月31日	懐かしの映画ポスター展(大映映画篇)	新潟娯楽映画同好会
2月10日～2月23日	高校自然科学系クラブ発表会ポスター公開展示	新潟県高等学校文化連盟自然科学専門部
2月25日～3月7日	RDD2021 世界希少・難治性疾患の日inにいがた	NPO法人新潟難病支援ネットワーク
3月10日～3月21日	開志学園高等学校デザイン・マンガフィールド作品展	開志学園高等学校
3月24日～4月4日	toyanogatagram(トヤノガタグラム)	株式会社アール・ケー・イー(鳥屋野潟公園指定管理者)

3 閲覧室内展示

展示テーマ		テーマ数
4月	臨時休館のため展示なし	-
5月	てづくりする おかしとパン	他 5 件
6月	おうちでカラダをリフレッシュ！	他 6 件
7月	新潟県薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 (「新潟県薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動」関連)	他 5 件
8月	作ってみよう 調べてみよう	他 5 件
9月	発掘された日本列島2020-新発見考古速報 - (新潟県立歴史博物館「発掘された日本列島2020-新発見考古速報-」展関連)	他 5 件
10月	図書解題で本を探す！ 秋の読書週間	他 5 件
11月	縄文人の生活ー火焰型土器・ヒスイ文化・栗(謎解明の鍵！) (秋の読書週間記念講演会関連)	他 7 件
12月	新潟県中高生POPコンテスト 応募作品展 (県教育委員会主催中高生POPコンテスト関連)	他 6 件
1月	若い人に贈る読書のすすめ (読書推進運動協議会発行「若い人に贈る読書のすすめ」リーフレット関連)	他 5 件
2月	猫だいすき！	他 5 件
3月	新潟江南高校 POP展(新潟県立新潟江南高校との連携)	他 5 件

4 主要刊行物

書 名	規格	頁数	刊行部数
新潟県の図書館 2020	A4版	114	300
令和2年度 新潟県立図書館年報	A4版	43	500
「ふくろうの森」の新潟県立図書館 メールマガジン (第113～128号)	メールマガジン		月1回配信 (最終火曜)

※メールマガジン登録者数 374名 (R3.3.31現在)

5 オリジナルデータベース

データベース名	令和2年度追加	合計
越後佐渡 デジタルライブラリー	撮影資料数 51点 撮影画像数 約890枚	公開資料数 4,383点 画像数 約95,830枚
新潟県立図書館 郷土人物索引データベース	4,773件	72,933件
新潟県立図書館 雑誌記事索引データベース	419件	50,652件

6 見学・視察等受入状況

種別	団体数	人数
小学校	1	18
中学校	0	0
高等学校	0	0
図書館	0	0
その他	1	1
計	2	19

7 新潟県立図書館ボランティア

事業名	期日等	内容	数
こども図書室 ボランティア	通年	土、日、祝日の半日単位で活動。こども達の見守り、読み聞かせ、書架の整理など。	計19名
公開書庫 ボランティア	4月～10月	半日単位で活動。図書館公開書庫での利用者の案内、書架の整理など。	計13名
フロアワーク ボランティア	通年	開館日に活動。返却本を書架に返す作業や書架の整理など。	計34名
ガーデン ボランティア	4月～11月	閉館日に活動。図書館の緑地や花壇の手入れ。園芸講座の企画運営。	計20名
大活字本の寄贈	3月10日(水)	新潟県立図書館に、第11回古本再生市の収益金の一部を使って購入した大活字本を寄贈した。	103冊

IX 令和2年度 研修・会議等

1 研修

名称	対象	内容	期日	参加者数
新潟県公共図書館新任職員研修会	新任公立図書館職員・公民館図書室担当職員	新任職員へ向けた資料をデータで提供	中止	-
新潟県公共図書館中堅職員研修会	中堅公立図書館職員・公民館図書室担当職員	「図書館のコレクションづくりの考え方・実際」 福島県白河市立図書館長 田中伸哉氏	9月30日(水)	32名
新潟県公共図書館職員専門研修会	公立図書館職員・公民館図書室担当職員	「伝わるデザインと情報の届け方～チラシや通知書の作成とSNS活用」 PRDESIGN JAPAN(株) 佐久間智之氏	3月3日(水)	オンライン :51名 会場 :12名

2 会議

名称	対象	期日	参加館数
第1回新潟県公立図書館長会議	県内公立図書館長	中止	-
第2回新潟県公立図書館長会議	県内公立図書館長	11月18日(水)	23館
新潟県公立図書館実務担当者会議	県内公立図書館職員	12月16日(水)	14館

3 新潟県図書館協会事業

名称	対象	期日	内容	参加者数
新潟県公共図書館総合部門研究集会	県内公立図書館・公民館図書室職員	10月21日(水)	◆テーマ 「認知症と思われる方やその家族へ図書館ができること」 ◆講演 川崎市立宮前図書館課長補佐 舟田彰氏 ◆オンライン(Zoom)開催 視聴会場:新潟県立図書館	オンライン :24名 会場 :28名
新潟県公共図書館児童部門研究集会		12月9日(水)	◆テーマ 「子どもの成長に合わせた本選び」 ◆講演 東京子ども図書館 小野寺愛美氏 ◆オンライン(Zoom)開催 視聴会場:新潟県立図書館	オンライン :76名 会場 :15名

4 新潟県読書推進運動協議会事業

名称	期日	内容	対象
こどもの読書普及功労者表彰	推薦館にて表彰状を伝達授与	南魚沼市在住 男性 (南魚沼市図書館 推薦) 井上 紀子氏 (上越市立高田図書館 推薦)	2名
優良読書グループ表彰	10月29日(木)	○全国表彰 「上越音声訳マザーテープの会」 (上越市立高田図書館 推薦) ○新潟県表彰 「おはなしの会森の家」 (新潟市立中央図書館 推薦) 「羽生田小学校読み聞かせボランティア」 (田上町公民館 推薦)	3団体

5 新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会事業

名称	期日	内容	参加者数
新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会	書面開催	・役員改選(書面議決) ・令和2年度新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会 資料集配付	-

X 県立図書館の沿革

大正 4 年 4 月 1 日	「明治記念新潟県立図書館」として創立
大正 4 年 8 月 15 日	巡回文庫開始
大正 5 年 12 月 8 日	新潟市寄居町に館舎・書庫竣工、落成開館式挙行
大正 6 年 2 月 18 日	全館閲覧事務を開始
大正 6 年 6 月 1 日	一般向け館外貸出開始
大正 8 年 7 月 15 日	盲人室開室
昭和 8 年 9 月 15 日	県中央図書館に指定される
昭和 23 年 10 月 26 日	視聴覚ライブラリーを設置
昭和 25 年 1 月 15 日	開架式閲覧方式を採用
昭和 26 年 3 月 23 日	新潟県立新潟図書館設置条例公布により「新潟県立新潟図書館」と改称
昭和 26 年 6 月 1 日	郷土資料室開設
昭和 27 年 4 月 1 日	上越・中越・下越・佐渡に分館開設
昭和 27 年 9 月 15 日	糸魚川配本所開設
昭和 28 年 11 月 30 日	新潟市一番堀通町（旧県庁隣接）に新館竣工
昭和 28 年 12 月 21 日	新館落成、開館式挙行
昭和 29 年 1 月 6 日	新館閲覧事務開始
昭和 29 年 12 月 1 日	参考事務開始
昭和 33 年 4 月 1 日	新潟県点字図書館設立
昭和 33 年 5 月 26 日	P B リポート閲覧室開設
昭和 36 年 1 月 10 日	県政研究室開室
昭和 36 年 10 月 23 日	書庫改造工事完成
昭和 37 年 3 月 31 日	貸出文庫用自動車備付
昭和 37 年 6 月 1 日	自動車文庫巡回開始
昭和 39 年 3 月 31 日	新潟県立新潟図書館条例公布
昭和 39 年 3 月 31 日	新潟県視聴覚ライブラリー条例公布により「新潟県視聴覚ライブラリー」を併設
昭和 39 年 6 月 16 日	新潟地震被災
昭和 40 年 10 月 18 日	災害復旧工事完了、全館正常開館
昭和 40 年 11 月 18 日	新潟県立新潟図書館50年史刊行
昭和 42 年 3 月 31 日	移動図書館車“みずほ号”購入
昭和 50 年 12 月	公民館等への長期一括貸出開始
昭和 52 年 3 月 31 日	P B リポート国立国会図書館に返納
昭和 57 年 4 月 1 日	日曜開館月 2 回実施
昭和 58 年 12 月	黒龍江省図書館と資料交換を開始
昭和 59 年 4 月 1 日	新潟大学附属図書館と相互貸借について協定
昭和 62 年 4 月 1 日	市町村立図書館と覚書により雑誌の収集保存分担を開始
昭和 63 年 3 月	「新潟県立図書館整備基本計画」策定
平成 元年 4 月 1 日	新潟県図書館等情報ネットワーク推進大綱制定
平成 元年 4 月 1 日	新潟県図書館・公民館ネットワーク整備実施要綱策定
平成 2 年 7 月 24 日	新館起工式挙行
平成 3 年 3 月	公民館等への長期一括貸出廃止
平成 3 年 11 月 19 日	新館定礎式挙行
平成 4 年 3 月 30 日	新館竣工
〃	新潟県立図書館条例公布により「新潟県立図書館」と改称（4月1日施行）
〃	新潟県立生涯学習推進センター条例公布により「新潟県視聴覚ライブラリー」を廃止（4月1日施行）
平成 4 年 3 月 31 日	県立図書館分館廃止
平成 4 年 6 月 1 日	新潟県図書館等情報ネットワーク協定締結
平成 4 年 8 月 6 日	新潟県立図書館新館開館式挙行
平成 4 年 8 月 7 日	新潟県立図書館新館開館（生涯学習推進センター、文書館同時新設開館）
平成 4 年 8 月 7 日	新潟県図書館等情報ネットワークシステム（S-NOW）稼働
平成 5 年 7 月 1 日	長善館学塾資料を文書館へ移管
平成 5 年 12 月 3 日	新潟県報、新潟町片桐家文書ほか私家文書を文書館へ移管
平成 6 年 3 月 4 日	北蒲原郡各町村絵図ほかを文書館へ移管
平成 7 年 4 月	パイロット電子図書館総合目録ネットワークプロジェクトに参加
平成 7 年 10 月 25 日	第81回全国図書館大会（27日まで）新潟県で開催
平成 8 年 11 月	学術情報センター目録所在サービスに加入
平成 9 年 3 月 28 日	学塾三餘堂関係資料一括、新潟県指定有形文化財に指定

平成 10 年 4 月	国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
平成 10 年 5 月 20 日	新潟県立図書館のホームページを開設
平成 10 年 6 月 17 日	「雑誌の収集保存分担に関する覚書」を廃止
平成 12 年 4 月 1 日	ホームページに資料検索機能等を登載
平成 14 年 8 月 30 日	南山図書館（韓国）と友好交流協定締結
平成 15 年 10 月 21 日	南山図書館（韓国）と友好交流協議書締結
平成 15 年 12 月 11 日	国立国会図書館レファレンス協同データベース実験事業参加
平成 16 年 1 月 15 日	ホームページに調査相談データベースを登載し、県内図書館等ネットワーク構成機関に公開
平成 17 年 3 月 29 日	新潟県内図書館横断検索システム公開
平成 17 年 4 月 1 日	11月3日（文化の日）等開館実施
平成 17 年 6 月 14 日	新潟県内図書館横断検索システムによる相互貸借開始
平成 18 年 10 月 3 日	ホームページに調査相談データベースを登載し、一般に公開
平成 18 年 11 月 24 日	魅力ある県立図書館づくり検討会は『魅力ある県立図書館づくり検討会報告書～くらしとしごとを支援する図書館をめざして～』を新潟県教育長に提出
平成 19 年 4 月 9 日	ホームページに新潟県関係雑誌索引データベースを公開
平成 19 年 7 月 31 日	くらしとしごとに役立つコーナー開設
平成 19 年 10 月 5 日	県立図書館の愛称が「ぶつくスワン」に決定
平成 20 年 4 月 1 日	祝日開館開始
平成 20 年 7 月 29 日	ユース・コーナー開設
平成 20 年 9 月 11 日	新潟県立図書館友の会設立
平成 20 年 12 月 16 日	くらしガーデン開設
平成 21 年 3 月 7 日	こども図書室オープン
平成 21 年 3 月 10 日	音声CD貸出サービス開始
平成 21 年 4 月 26 日	新潟地域図書館ネットワーク「めぐるくん」発足
平成 21 年 7 月 18 日	「くらしガーデン」拡張リニューアルオープン
平成 21 年 7 月 24 日	公開書庫（書庫の一般開放）スタート
平成 22 年 1 月 14 日	全国公共図書館研究集会（15日まで）新潟県で開催
平成 22 年 7 月～9 月	国民読書年記念事業「ふくろうの森の図書館大賞」「100冊の本コレクション」開催
平成 23 年 1 月 7 日	図書館情報システム更新
平成 23 年 1 月 7 日	ホームページに「越後佐渡デジタルライブラリー」「郷土人物／雑誌記事索引データベース」を公開
平成 24 年 3 月 9 日	「大規模災害時における都県立図書館相互の応援に関する申合せ」決議
平成 24 年 3 月 13 日	ホームページで音楽配信サービス「音楽ライブラリー」を開始、「越後佐渡デジタルライブラリー」をリニューアル
平成 24 年 3 月 13 日	利用登録の郵送による申込み受付を開始
平成 26 年 4 月 8 日	国立国会図書館図書館向けデジタル化資料送信サービス開始
平成 26 年 9 月 24 日	新潟大学地域映像アーカイブ提供開始
平成 27 年 4 月 1 日	創立100周年を迎える
平成 27 年 10 月 28 日	創立100周年記念式典
平成 28 年 3 月 31 日	新潟県立図書館創立100周年記念誌刊行
平成 29 年 1 月 17 日	図書館情報システム更新 閲覧室内利用者用無線LAN提供開始
平成 29 年 3 月 23 日	「にいがたMALUI連携・地域データベース」提供開始
平成 30 年 7 月 1 日	遠隔地返却サービス開始 県内公立図書館・公民館図書室への相互貸借無料化
平成 30 年 10 月 31 日	サピエ図書館サービス提供開始
平成 31 年 3 月 31 日	年間個人貸出冊数が過去最高を更新し53万7千冊を達成
令和 元年 5 月 1 日	団体貸出サービス開始
令和 元年 10 月 1 日	「越後佐渡デジタルライブラリー」を全面リニューアル
令和 2 年 3 月 2 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～3月31日）
令和 2 年 4 月 1 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館を延長（～5月18日） エントランスホールにて、予約資料の貸出、ブックポストに返却ができない資料の返却受付を実施（～4月19日）※緊急事態宣言発令のため、4月19日でサービス中止
令和 2 年 5 月 12 日	エントランスホールにおいて予約資料の貸出を再開（～5月17日）
令和 2 年 5 月 19 日	閲覧室の一部利用を再開（以降段階的にサービスを再開）

XI 令和2年度の主な出来事

月 日	記 事	月 日	記 事
4. 1	創立記念日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 臨時休館を延長〔～5.18〕 エントランスにて、予約資料の貸出、ブックポ ストに返却ができない資料の返却受付を実施 〔～17〕	11. 1	「読書の秋・本のおすそわけ」〔～11〕
23	第62回こどもの読書週間〔～5.12〕 - こどもの読書普及功労者表彰 【推薦館で伝達授与】	4	図書館総合展【配信】〔～5〕
5. 12	エントランスでの予約資料の貸出を再開	7	秋の読書週間記念講演会「縄文人の生活～火焰 型土器・ヒスイ文化・栗（謎解明の鍵！）～」 (村上)
15	第1回新潟県公立図書館長会議【中止】 - 新潟県図書館協会評議員会【書面開催】	9	国立国会図書館国際子ども図書館児童サービス 研修【オンライン】〔～10〕
19	閲覧室の一部利用を再開	11	北陸4県・県立図書館所蔵資料交流展示会 「北陸の食文化」〔～23〕
28	新潟県公共図書館新任職員研修会〔～29〕 【中止】 - 全国公共図書館協議会定期総会 【理事会(書面開催)における代行決議】	17	読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修 【オンライン】〔～19〕
6. 17	新聞、マイクロフィルムの閲覧再開 国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定 都市立図書館長との懇談会【中止】 - 関東地区公共図書館協議会第1回幹事会・総会 【書面開催】※研究発表大会は中止	18	第2回新潟県公立図書館長会議(県立)
7. 7	インターネットパソコン、外部データベース 及び国立国会図書館デジタル化資料送信サー ビス、対面による調査相談(15分以内)申し込み の必要な資料の閲覧、他館からの資料・複写物 の取り寄せサービスの一部、共同研修室の利用 を再開	20	第38回くらし応援講座「草創期の世界の絵本～ 新潟県立図書館コレクション案内～」
8. 28	子ども読書レベルアップ研修会(燕)	20	全国図書館大会和歌山大会【配信】〔～30〕
9. 3	子ども読書レベルアップ研修会(燕)	25	「見て、聴いて、楽しむ！バリアフリー読書」 〔～12.6〕
25	関東地区公共図書館協議会都県立図書館長会議 【中止・聴取事項回答のみ実施】	12. 1	関東・甲信越静地区図書館地区別研修 【オンライン】〔～4〕
29	第1回新潟県立図書館協議会(県立)	4	地域映像の上映会「越後佐渡・伝統工芸の世 界」
30	新潟県公共図書館中堅職員研修会(県立)	9	新潟県公共図書館児童部門研究集会 (県立・オンライン)
10. 1	北陸地区公共図書館職員研修会(福井)	16	新潟県公立図書館実務担当者会議(県立)
21	新潟県公共図書館総合部門研究集会 (県立・オンライン) - 新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会 【書面開催】	1. 5	「新春掛軸展」〔～17〕
27	第74回秋の読書週間〔～11.9〕	15	全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合 ・経営部門)【配信】〔～31〕
29	優良読書グループ表彰式(県立)	26	インターネットdeふるさと講座「新潟県立図書 館所蔵史料から明治の「新潟」をたどる」 〔～2.26〕
		27	第2回新潟県立図書館協議会 (県立・オンライン)
		2. 1	蔵書点検〔～8〕
		3. 3	新潟県公共図書館職員専門研修会 (県立・オンライン)
		9	国立国会図書館国際子ども図書館「児童サー ビス研究交流会」【配信】〔～4.30〕
		19	第3回新潟県立図書館協議会 (県立・オンライン)
		27	絵本ワールドinこいがた(新潟) - 新潟県図書館協会理事会【書面開催】 - 関東地区公共図書館協議会第2回幹事会

()内は開催地。新潟県立図書館で開催の場合は県立、新潟県内は市町村名、県外は都県名を記した。

XII 施設等の概要

1. 施設（生涯学習推進センター、文書館と併設）

- (1) 竣工 平成4年3月30日
 (2) 構造 鉄筋コンクリート二階建
 一部鉄骨鉄筋コンクリート造り平屋建
 (3) 管理敷地面積 15,600.00㎡
 (4) 建築面積 8,664.41㎡
 (5) 図書館延床面積 8,891.74㎡

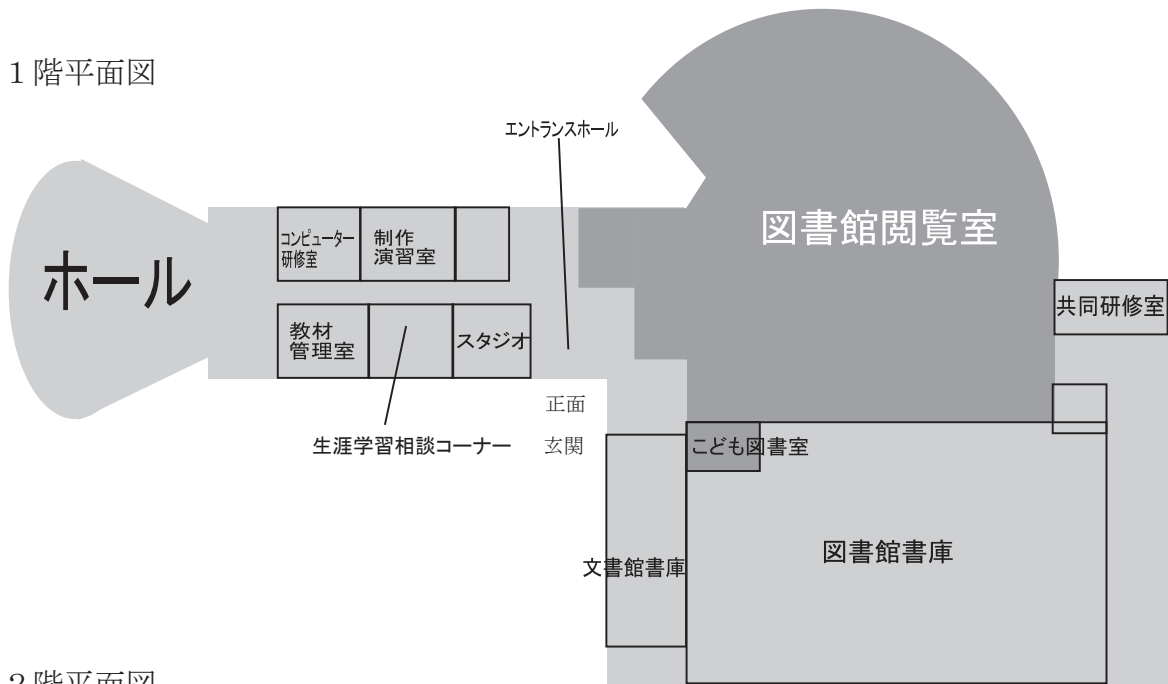
室名	面積	席数	収蔵可能冊数	利用者用端末
閲覧室	2,541.00㎡	338席	約14万冊	27台
共同研修室1・2	49.00㎡	24席	—	—
共同研修室3	42.00㎡	20席	—	—
こども図書室	53.00㎡	29席	約3千冊	1台
書庫	2,676.00㎡	—	約80万冊	1台

※閲覧室の席数内訳 閲覧机有：218席（持ち込みパソコン利用可能な36席を含む。）
 ソファ・ベンチ等：120席

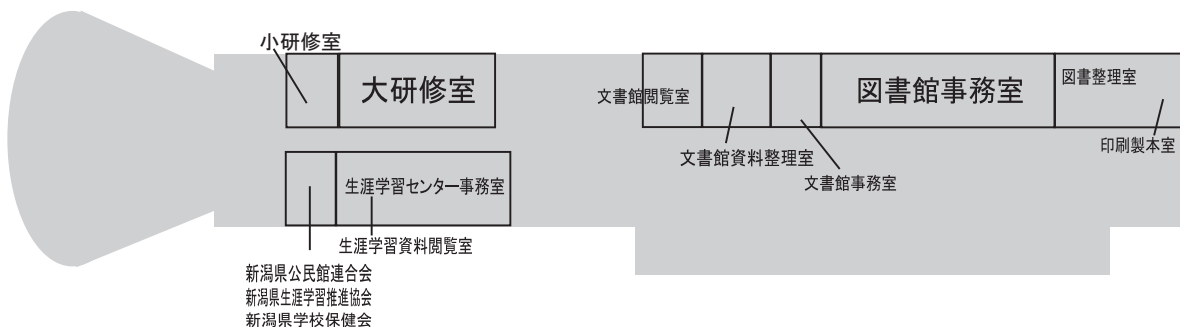
※感染症対策のため、下記のとおり座席数を制限している。（令和3年3月31日現在）

- ・閲覧室：129席 共同研修室1・2：8席 共同研修室3：5席
- ・こども図書室は解放せず

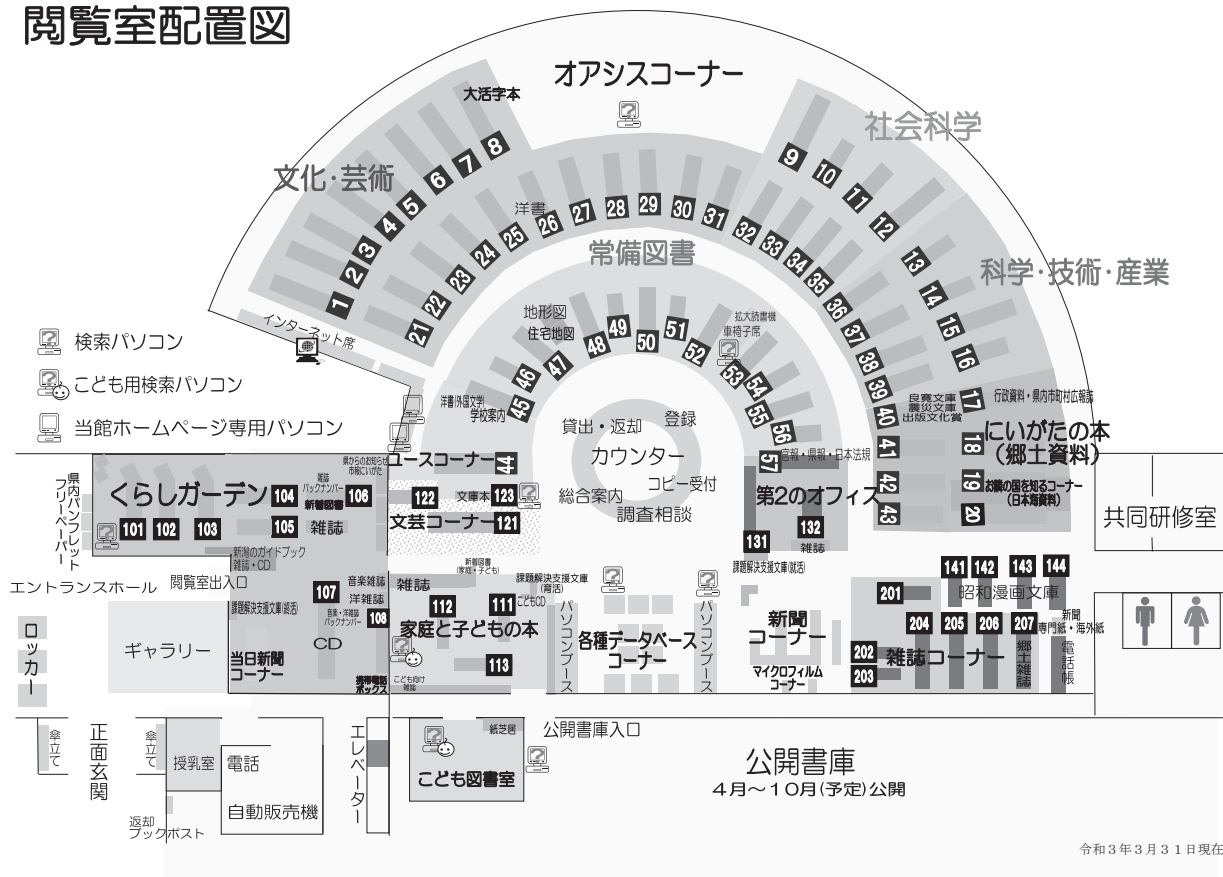
1階平面図



2階平面図



閲覧室配置図



令和3年3月31日現在

2. コンピュータ

(1) 図書館システムサーバー

- ・ホストサーバ内部 1台
- ・ホストサーバ外部 1台
- ・フィルタリングサーバ 1台

(2) 端末機

- ・業務用 21台
- ・カウンターサービス用ノートPC 3台
- ・利用者用 29台

内訳	インターネット開放用	8台
	特定ホームページ接続用	2台
	館内OPAC	9台
	外部データベース接続用	10台

新潟県立図書館規則

(昭和39年3月31日 新潟県教育委員会規則第5号)
最終改正 平成22年3月9日新潟県教育委員会規則第2号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第33条及び新潟県立図書館条例（平成4年新潟県条例第37号）第2条の規定に基づき、新潟県立図書館（以下「図書館」という。）の管理運営について、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 図書館の開館時間は、午前9時30分から午後7時までとする。ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「祝日」という。）及び12月28日は、午後5時までとする。

2 前項の開館時間は、図書館の長（以下「館長」という。）が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

(休館日)

第3条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（その日が祝日に当たるときを除く。）
- (2) 12月29日から翌年1月4日まで
- (3) 特別整理期間（年間2週間以内）

2 前項の休館日は、館長が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(秩序の維持)

第4条 図書館を利用する者は、この規則に定めるもののほか、諸規程に従い、館内の秩序の保持に努めなければならない。

(利用の制限)

第5条 館長は、館内の秩序を乱し、又は乱すおそれのある者に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(利用の停止等)

第6条 この規則又は図書館の指示に違反した者に対しては、図書館の利用を停止し、又は禁止する。

(損害の弁償)

第7条 利用者が図書館資料（以下「資料」という。）を亡失し、又は損傷した場合は、現品又は相当の代金をもって弁償しなければならない。ただし、館長が不可抗力によると認められた場合は、この限りでない。

第2章 図書館資料等の館内利用

(館内利用)

第8条 閲覧室、共同研修室その他特に指定する場所の利用については、別に定めるところによる。

(資料の複写)

第9条 利用者は、図書館に対して、自らの調査研究のために必要な資料の複写を依頼することができる。

2 前項の複写に要する経費は、利用者の負担とする。

第3章 調査相談

(調査相談)

第10条 利用者は、図書館に対して、自らの教養、調査研究等のために必要とする資料について、調査を依頼し、相談することができる。

(経費の負担)

第11条 前条の規定による調査相談で、通信、複写等の経費を伴うものについては、利用者の負担とする。

第4章 図書館資料等の館外利用

(館外利用)

第12条 資料を館外で利用できる者は、県内に居住し、又は通勤し、若しくは通学する者とする。

(利用カードの交付)

第13条 資料を館外で利用しようとする者は、別に定めるところにより、利用カードの交付を受けなければならない。

2 前項の規定による利用カードの交付を受けようとするときは、身元を証する書類を提示しなければならない。

(利用冊数と期間)

第14条 館外において同時に利用できる資料の数は、図書等について10冊以内とし、その期間は2週間以内とする。ただし館長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(館外利用のできない資料)

第15条 貴重資料の保存その他特別な事由により、館長が不相当と認める場合には、資料を館外で利用することができない。

(図書館等の館外利用)

第16条 次の各号に掲げる図書館等は、別に定めるところにより、資料の館外利用をすることができる。

(1) 図書館法(昭和25年法律第118号)に規定する公立図書館及び私立図書館

(2) 国立国会図書館

(3) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する学校に付属する図書館又は図書室

(4) 社会教育法(昭和24年法律第207号)に規定する公民館

(5) その他館長が相当と認めるもの

2 前項の規定による利用に要する経費は、利用者の負担とする。ただし、館長が必要と認めるときは、この限りではない。

第5章 寄贈及び寄託

(寄贈及び寄託)

第17条 図書館は、図書館資料となるものの寄贈及び寄託を受けることができる。

2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、別に定めるところにより、館長の承認を受けなければならない。ただし、図書館が寄贈又は寄託を依頼した場合及び軽易な場合は、この限りでない。

(寄贈者の表示)

第18条 寄贈を受けた資料には、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を記入し、その篤志を伝えるものとする。

(経費の負担)

第19条 寄贈及び寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、特別の事情がある場合は、図書館がその一部又は全部を負担することができる。

(寄託資料の管理)

第20条 寄託された資料の管理については、図書館の所有する資料に準ずるものとする。ただし、寄託者の承諾のある場合を除き、館外利用を認めない。

2 寄託された資料の受託期間は、1年以上とし、館長がこれを定める。ただし、寄託者の請求又は図書館の必要により、受託期間中においてもこれを返還することができる。

(損害賠償の責任)

第21条 寄託された資料が、災害その他不可抗力によって亡失、汚損又は損傷した場合は、図書館は、損害賠償の責を負わない。

第6章 補則

(館長への委任)

第22条 この規則の施行について必要な事項は、館長が定める。

附 則

1 この規則は、昭和39年4月1日から施行する。

2 新潟県立新潟図書館館則(昭和26年新潟県教育委員会規則第3号)は、廃止する。

附 則(平成4年3月31日新潟県教育委員会規則第8号)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

(略)

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

令和2年度 新潟県立図書館運営に対する評価

図書館法第7条の3の規定に基づき、令和元年度の新潟県立図書館の運営状況について、次のとおり評価を実施した。評価は、指標に基づく自己評価と図書館協議会委員による外部評価から構成される。

1 評価の項目（指標）

(1) 基礎的サービス評価

	目 標	実績	達成率
ア 入館者数	230,000 人 (801 人/日)	270,741 人 (943 人/日)	118%
イ 新規登録者数（利用カード発行枚数）	3,300 人 (12 人/日)	3,083 人 (11 人/日)	93%
ウ 個人貸出冊数	300,000 冊 (1,045 冊/日)	401,488 冊 (1,399 冊/日)	134%
エ HP（トップページ）アクセス件数	400,000 件 (1,096 件/日)	301,266 件 (825 件/日)	75%
オ 市町村等への貸出冊数（長期一括貸出含む）	13,000 冊 (45 冊/日)	12,631 冊 (44 冊/日)	97%

(2) 重点事業評価

		R2 目標	実績	達成率
ア 多様なニーズに対応できる情報サービスの充実	各コーナーの図書の合計貸出冊数	17 万冊※	206,842 冊	122%
	情報資源の有効活用のためのツール	120 件※	147 件	123%
イ 広域サービスの充実	県立図書館から県内市町村図書館等への相互貸借冊数	7,000 冊	6,415 冊	92%
	音楽ライブラリーアクセス件数	15,000 件	13,136 件	88%
ウ 県内図書館等との連携協力の推進	集合・訪問研修の参加者満足度	90%以上	100%	111%
	訪問相談実施市町村数	9 市町村※ (全市町村訪問)	9 市町村	100%

※ コロナ禍の影響を踏まえ、目標値を変更した項目

2 図書館協議会による評価

(1) 協議会の開催

- ・日時 令和3年3月19日（金）
- ・場所 新潟県立図書館・大研修室

(2) 委員会とりまとめ

(1)における各委員の意見を荻原幸子委員長（専修大学経営学部教授）がとりまとめ、図書館協議会による評価とした。

1 基礎的サービス評価

項目 (指標)	本年度の目標 ()は昨年度目標	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		合計	1日平均	目標に対する 達成率	評価
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月								
(1) 入館者数	230,000 (450,000)	令和2年度 37,076	87,842	78,521	67,302	270,741	943	AA	118 %				
	人	令和元年度 105,409	126,830	109,397	72,580	414,216	1,453						
	増減	-68,333	-38,988	-30,876	-5,278	-143,475	-510						
	対比	35.2%	69.3%	71.8%	92.7%	65.4%	64.9%						
(2) 新規登録者数 (利用カード発行枚数)	3,300 (5,500)	令和2年度 542	1,061	768	712	3,083	11	C	93 %				
	人	令和元年度 1,219	1,375	1,013	718	4,325	15						
	増減	-677	-314	-245	-6	-1,242	-4						
	対比	44.5%	77.2%	75.8%	99.2%	71.3%	70.8%						
(3) 個人貸出冊数	300,000 (550,000)	令和2年度 46,557	121,209	121,154	112,568	401,488	1,399	AA	134 %				
	冊	令和元年度 129,955	138,259	135,675	98,726	502,615	1,764						
	増減	-83,398	-17,050	-14,521	13,842	-101,127	-365						
	対比	35.8%	87.7%	89.3%	114.0%	79.9%	79.3%						
(4) HP (トップページ) アクセス件数	400,000 (340,000)	令和2年度 114,376	83,212	52,765	50,913	301,266	825	C	75 %				
	件	令和元年度 84,614	89,597	85,507	102,534	362,252	990						
	増減	29,762	-6,385	-32,742	-51,621	-60,986	-164						
	対比	135.2%	92.9%	61.7%	49.7%	83.2%	83.4%						
(5) 市町村等への貸出冊数 (長期一括貸出含む)	13,000 (16,000)	令和2年度 1,596	2,156	4,358	4,521	12,631	44	B	97 %				
	冊	令和元年度 4,559	2,163	5,170	4,725	16,617	54						
	増減	-2,963	-7	-812	-204	-3,986	-10						
	対比	35.0%	99.7%	84.3%	95.7%	76.0%	109.4%						

開館日 令和2年度： 287日
令和元年度： 285日

・評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

※4月1日～5月18日は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館

4月1日～19日、5月12日～17日は、一部サービス（予約資料の貸出）を実施

2 - 1 重点事業評価

事業名

多様なニーズに対応できる情報サービスの充実

(1) 指標① 各コーナーの図書の合計貸出冊数

達成目標：3年後に30万冊（各年度1万冊ずつ増加）

	達成目標	実績 (達成率)	分析コメント
H30	28万冊	281, 282 冊 (100%)	大規模工事に伴う休館期間中に「くらしガーデン」の様替えを行ったほか、テーマ展示等に努めた結果、目標を達成した。
R1	29万冊	266, 422 冊 (92%)	2月までは、概ね目標どおり推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で3月がほぼ全日閉館となったため、目標達成できなかった。
R2	30万冊 <u>(※17万冊)</u>	206, 842 冊 (122%)	5月中旬まで閲覧室に利用者が入れず、その後も制限的な利用が続き実績は完全には回復しなかったが、資料を探しやすい表示の工夫やテーマ展示等に取り組んだ結果、目標を達成した。

「※」は、コロナ禍の影響を踏まえ、目標値を変更

指標② 情報資源の有効活用のためのパスファインダー、イベント関連資料リスト、PRチラシ等作成件数とギャラリー展示、館内のテーマ展示等の件数

達成目標：3年後に180件以上

	達成目標	実績 (達成率)	分析コメント
H30	160件以上	194件 (121%)	これらのツール等については、利用者の利便性向上、利用実績向上に資するものであるため、各担当が熱心に取り組んだ結果、実績が上がっている。
R1	170件以上	186件 (109%)	//
R2	180件以上 <u>(※120件)</u>	147件 (123%)	上半期は、新型コロナウイルス感染症対策に追われ、十分な取組ができなかったが、年度後半はホームページ上でも閲覧できるツール類の作成に取り組み、目標を達成した。

「※」は、コロナ禍の影響を踏まえ、目標値を変更

(2) 令和2年度の具体的取組（概要）

<p><指標①> コロナ禍の影響による臨時休館中は、予約資料の貸出をエントランスホールで行った。再開後も利用制限やイベントの縮小等が続き、完全には回復していない状況が続いたが、以下の取組等により目標の達成を目指した。 ◎感染症拡大防止対策を十分にとりながらの、貸出サービスの継続 ◎閲覧室内のテーマ展示や書架内展示等の、探しやすい表示の工夫 ◎資料紹介リスト・リーフレット等の作成・配布 ◎感染症対応地方創生臨時交付金を活用した蔵書の充実（約1、300冊・一般書、専門書、障害者サービス用）と、相互貸借・遠隔地サービスを合わせたPR</p> <p><指標②> 各種テーマの資料展示を行うとともに関連資料リスト等を作成、配布するなど、図書館からの多様な情報発信に取り組んだ。また、県民の調査研究活動を支援するため、パスファインダーの作成、更新などによる調査相談機能の更なる充実を図った。 ◎閲覧室内のテーマ展示（92件） ◎資料リスト等の作成・配布（10件） ◎パスファインダー等の作成、更新（38件） ◎音楽ライブラリープレイリストの作成（7件）</p>

(3) 事業評価（自己評価）

<p>自己評価 <small>（総合評価）</small></p>	<p>指標①、②ともに目標値を上回り、AA評価となった。</p>	<p><指標①> 貸出冊数全体の推移と同様に、臨時休館明け（5月19日）から徐々に回復したが、くらしコーナーの旅行ガイドやオフィスコーナーのビジネス書は、コロナ禍による外出自粛の影響もあり利用が減少した。感染症防止対策を継続しつつ、臨時交付金による蔵書の充実を図り、目標の達成に向けて取り組んだ。</p> <p><指標②> 上半期は新型コロナウイルス感染症対策に追われ、十分な取組ができなかった。下半期もイベント等の通常開催は難しい状況であったが、パスファインダーの作成やテーマ展示等の取組に加え、音楽ライブラリープレイリストの作成やテーマ別ブックリストの充実等の新規取組によって実績を挽回し、目標の達成につなげた。</p>
--	----------------------------------	--

AA 目標が十分に達成された。 A 目標が達成された。
 B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。
 ※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

(4) 3年間の総括

<p>指標①については、3年間を通して館内の利用環境の整備や、講演会・講座等の学習機会の提供、県施策等と連動した展示等の充実に取り組んだ結果、県民の生涯学習や課題解決の支援に貢献できた。次年度以降は、県の行政施策と連携した取組等を推進する。</p> <p>指標②については、3年間を通して情報資源の有効活用のためのパスファインダー、イベント関連資料リスト、PRチラシ等作成件数とギャラリー展示、館内のテーマ展示等に取り組み、図書館からの情報発信の充実につながった。今後も、図書館からの情報発信の更なる充実に取り組む。</p>
--

(5) 図書館協議会意見

① 館内のテーマ展示は、目について利用しやすい。コロナ対策に配慮しながらも、現在話題となっている内容の図書や、旬の図書、新潟に関する図書などを、インパクトのあるレイアウトで実施していただきたい。

② ギャラリー展示は、図書館に入ってすぐに目に入るものである。図書館の所蔵資料を展示するなど、博物館的な役割を果たしつつ、更なる充実が望まれる。鳥屋野潟公園に近い立地を生かし、本と自然を結びつけたパネル等の展示や催し、食文化や食と関連する図書の展示や催しも楽しいものになると思われる。ちょっとした楽しい企画も期待したい。

③ 令和2年度のパスファインダー作成が、2月末実績は0件、3月が8件、年度計8件である。素朴な疑問として、年間を通じて随時、新しいテーマで作成し公開する状況でないこと（年度末に作成・公開される状況）は適切なのか。2月末までに一件も作成・公開されていないのはなぜなのか。

④ HPの「調べものヒント集（パスファインダー）」について

(https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page_id=532)

(a) 利便性の向上が必要である。

自動的にダウンロードされるPDFファイルを改めて開かないと読むことができない。見たいテーマをクリックするとすぐに表示されるようにしたほうが、利便性は高い。

(b) 全ての既存のパスファインダーの見直しと更新が必要である。

掲載されている内容の更新が必要なものがある。県外で発行された図書を含めて紹介した方が適している場合もある。また、全てのテーマのレイアウト（デザイン、文字の大きさ等）を統一したほうが体裁が良い（現状は不揃いで体裁が悪い）。

たとえば、「NPOとまちづくり」のパスファインダーは、

- ・ 左上に英語で「PDF Complete」などと表示されて見にくい、
- ・ 紹介されている図書の出版年が2013年までである、
- ・ すでに県立図書館での提供を終了した「マガジンプラス」が紹介されたままである、
- ・ 一部にWebサイトのリンク切れがある、

など、少なくともこのまま公開し続けていることは問題である。

新たに作成・追加することに注力するばかりではなく、既存のものの定期的なメンテナンスも必要である。

2 - 2 重点事業評価

事業名

広域サービスの充実

(1) 指標① 県立図書館から県内市町村図書館等への相互貸借冊数

達成目標：3年後に7,000冊

	達成目標	実績 (達成率)	分析コメント
H30	5,500冊	5,775冊 (105%)	平成30年度から市町村への送料を往復とも県負担とし（それまでは片道）、市町村に積極的に利用を働きかけた結果、目標を上回る実績となった。
R1	6,200冊	6,773冊 (109%)	前年度に引き続き、市町村立図書館等と連携して利用者（市町村住民）へのPRに努めた結果、目標を上回る実績となった。
R2	7,000冊	6,415冊 (92%)	送料の往復県負担という制度が利用者に浸透することにより、まだ利用が増加する余地があると想定されたため、制度のPRに努めつつ、当初計画どおりの目標達成を目指したが、市町村図書館でもコロナ禍による臨時休館や制限により利用が減少したため、目標を下回った。

指標② 音楽ライブラリーアクセス件数

達成目標：3年後に15,000件（各年度1,000件ずつ増加）

	達成目標	実績 (達成率)	分析コメント
H30	13,000件	11,956件 (92%)	市町村立図書館等へのチラシ配布、新潟市のイベントに出向いてチラシ配布等に取り組んだが、想定したほど新規利用者の増加につながらず、目標を若干下回った。
R1	14,000件	12,817件 (92%)	前年度の取組に加え、新潟大学の学生への資料配付等に努め、前年度より860件ほど増加したが、想定したほどの増加には及ばず、目標を若干下回った。
R2	15,000件	13,136件 (88%)	図書館が閉館していても提供可能なサービスであり、臨時休館中も前年度並みの実績を維持した。年度後半は、ホームページ上でプレイリストを提供するなど新しい取組を行うことにより当初計画どおりの目標達成を目指したが、コロナ禍で大学と連携したPRが中止となった影響は大きく、目標を下回った。

(2) 令和2年度の具体的取組（概要）

<指標①>

コロナ禍の影響による臨時休館中も、市町村図書館等への相互貸借は継続した。市町村図書館でも臨時休館や利用制限がある中で、送料往復県負担の周知などを図り相互貸借の利用促進につなげるなど、目標達成に向けて取り組んだ。

送料の往復県負担制度が利用者に浸透することにより、更に利用が伸びる余地があると想定されたので、制度のPRに努め、利用の少ない地域やより離れた地域の図書館等にも働きかけを行い、市町村と連携して広域サービスの浸透に取り組んだ。

地方創生臨時交付金を活用して蔵書の充実を図るとともに、相互貸借・遠隔地サービスを合わせたPRを、県庁内「職員へのお知らせ」等も活用して行った。

《次ページへ続く》

《前ページからの続き》

<指標②>

閉館時でも提供可能なサービスであり、コロナ禍の影響による臨時休館中の実績も大きな落ち込みはなかった。ホームページ上でプレイリストを作成し、公開することによって、音楽ライブラリーの周知とサービスの利便性向上に取り組んだ。

(3) 事業評価（自己評価）

自己評価 (総合評価)	指標①、②ともに目標値に及ばず、C評価となった。	<p><指標①></p> <p>市町村図書館等が臨時休館していた5月までは利用が減少したが、その後6月から8月にかけては回復・上昇傾向にあった。9月以降は前年度並みの実績に戻り、年度後半は訪問事業等の機会をとらえて、市町村に利用と周知の協力を重ねて呼びかけながら、要望点等を集約して業務改善につなげることによって実績の挽回を目指したが、市町村図書館の臨時休館や利用減が影響し、目標には及ばなかった。</p> <p><指標②></p> <p>コロナ禍の影響により、臨時休館やサービスの縮小が続いたが、外出自粛に伴う非来館型サービスへの需要の高まりもあり、5月以降は概ね前年度同期を上回った。</p> <p>アクセス件数は臨時休館以降も概ね月1,000件以上を維持し、ホームページ上から音楽ライブラリーに誘導する新たな取組として、9月からプレイリストを月1件ずつ公開したが、コロナ禍により新潟大学と連携したPR事業が中止となった影響は大きく、目標には及ばなかった。</p>
----------------	--------------------------	--

AA 目標が十分に達成された。 A 目標が達成された。
B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。
※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

(4) 3年間の総括

指標①については、市町村と連携して相互貸借制度と遠隔地返却制度の周知を図った結果、広域サービスの浸透につながった。次年度以降も、地域の図書館ネットワークの充実に努める。

指標②については、インターネット音楽配信サービスの周知と提供に取り組み、各年度で目標数値を若干下回る結果となったが、3年間通しての実績は漸増となった。今後も、インターネット等の電子媒体を活用した情報提供サービスに取り組む。

(5) 図書館協議会意見

① 今後は、非来館型サービスへの需要が一層高まると思われるため、広くPRするとともに、更に充実させると良い。

② 音楽ライブラリーについて

(a) 地道に実績値を上げていることは評価される。

(b) アクセス手順について、短くて分かりやすい説明があれば、利用してみようとする人も増えるのではないかと。

(c) 現状ではスマートフォンやタブレット端末からの利用ができない契約であり、利用件数の増加には限界があると考えられる。利便性の向上を図るために、契約等を見直す方策もあるが、利用料の増額が伴うことになる。図書館としては、今後の展開をどのように考えるのか。

(d) 令和2年度に新潟大学と連携したPRが6月に中止になったことは残念ではあった。とはいえ、アクセス履歴の分析やプレイリストの更新は、大学との連携とは別に実施できたのではないかと。プレイリストの更新により9月以降のアクセス件数が前年より上回ったとのことで、なおさら、早い時期から実施されていれば良かったのではないかと悔やまれる。音楽ライブラリーに限らず、何事においても、多角的な複数の方策の実施を期待する。

2 - 3 重点事業評価

事業名

県内図書館等との連携協力の推進

- (1) 指標① 集合研修・訪問研修の参加者満足度（アンケート回答「参考になった」「やや参考になった」の割合）

目標：毎年度90%以上

	達成目標	実績 (達成率)	分析コメント
H30	90%以上	100% (111%)	県立図書館として市町村立図書館等への支援に力を入れており、相手のニーズに配慮した分かりやすい研修に努めた結果、目標を達成できたと考えます。
R1	90%以上	100% (111%)	//
R2	90%以上	100% (111%)	新型コロナウイルス感染症のため、上半期は計画どおりの研修ができなかったが、下半期に充実した研修を実施することで目標を達成した。

- 指標② 訪問相談実施市町村数

達成目標：3か年で全市町村を訪問

	達成目標	実績 (達成率)	分析コメント
H30	10市町村	13市町村 (130%)	県立図書館の広域サービスの拡充の説明等も兼ねて積極的に訪問したため、目標を上回る達成となった。
R1	10市町村	8市町村 (80%)	年度途中まで計画どおりに推移していたが、年度末に新型コロナウイルス感染症の影響で訪問相談を中止したため、未達成となった。
R2	10市町村 (全市町村訪問) ※9市町村	9市町村 (100%)	感染症対策に配慮しながら訪問相談を実施し、目標を達成した。

「※」は、コロナ禍の影響を踏まえ、目標値を変更

(2) 令和2年度の具体的取組（概要）

<p><指標①> 新型コロナウイルス感染症が拡大したため、当初予定の集合研修は再調整を余儀なくされたが、6月以降は講師と事前に十分な調整を行い、オンライン研修を実施するなど、感染症防止対策をとりながら開催した。 訪問研修は、市町村職員と事前・事後のアンケートを聴取するなどの調整を行って要望に沿った研修を実施し、満足度を高めるように取り組んだ。 【集合研修】 ◎公共図書館新任職員研修会（5月・中止）※資料送付 ◎公共図書館中堅職員研修会「図書館のコレクションづくりの考え方・実際」（9月）感染症防止対策をとり実施 ◎公共図書館職員専門研修会「伝わるデザインと情報の届け方」（3月）オンラインで実施 【訪問研修】 ◎レファレンス 5館 ◎製本・修理 2館 【新規事業】 訪問セミナー（郷土資料をテーマに下半期より開始）2館</p> <p><指標②> 訪問相談では、近年訪問実績の少なかった自治体も含め、県内全市町村を訪問することで市町村図書館等の現状を把握し、適切な助言や情報提供を行うことによって、市町村支援の充実を図った。 残り9市町村で3年で全市町村訪問達成となるため、目標の達成に取り組んだ。 ◎上半期訪問 1館 ◎下半期訪問 8館 ◎【新規】訪問セミナー（郷土資料をテーマに下半期より開始）2館</p>

(3) 事業評価（自己評価）

<p>自己評価 <small>（総合評価）</small></p>	<p>指標①、②とも目標値を上回り、A評価となった。</p>	<p><指標①> 上半期はコロナ禍の影響により、集合・訪問とも計画どおりの市町村職員向け研修ができなかったが、下半期は事前の連絡調整を十分にとりつつ、市町村の要望に応じた訪問研修を実施した。集合研修についても、講師と綿密な調整を行い、満足度の高い研修会を開催することにより、目標達成に取り組んだ。</p> <p><指標②> 新型コロナウイルス感染症のため、上半期は計画どおりの訪問ができなかった。下半期は感染症に配慮しながら、連絡調整を十分に行いつつ訪問することによって、目標を達成できるよう取り組んだ。 また、新規に郷土資料をテーマにした訪問セミナーを開始した。これらの取組によって、市町村支援事業の更なる充実を図った。</p>
--	--------------------------------	--

AA 目標が十分に達成された。 A 目標が達成された。
 B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。
 ※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

(4) 3年間の総括

<p>指標①については、ニーズに沿った満足度の高い集合・訪問研修を実施し、県全体の図書館サービスの向上に貢献できた。次年度以降も、市町村図書館等のサービス向上につながる、効果的な研修体制の整備に努める。</p> <p>指標②については、3年間で全30市町村の現状を把握するとともに、適切な助言や情報提供を行うことができた。今後も、市町村図書館等の支援体制の更なる充実に取り組む。</p>

(5) 図書館協議会意見

① 読書バリアフリー法や電子図書館など、県内図書館は共通の課題を抱えている。さまざまな情報提供及び県の姿勢や方針を確認するために、より一層緊密な日常の相談体制の整備や関係構築が必要である。

② 令和2年度の集合研修について、5月は中止、9月は感染症予防対策をとって実施されたとのことだが、県立図書館の役割としては、いち早くZoom等でのオンライン（リモート）で実施する必要があったと考える。5月であれば（あるいは日程を少し遅らせる対応でも）オンラインでの実施は可能だったのではないかと。少なくとも県立図書館が迅速に率先して県内市町村図書館等のリモートの態勢を整えていくという、貢献や支援ができたはずであると考え。

③ 訪問研修については、「訪問」の意義はあると思うが、リモートも併用して実施すればよいと考える。

④ コロナ感染症の影響で、「資料送付のみ」「感染症予防対策をとっての実施」「オンラインでの実施」と、例年とは異なる状況であったにもかかわらず、参加者満足度は100%と明示され、事業評価（自己評価）にも特に課題は示されていない。昨年度と全く同様の指摘であるが「参加者はどのような点が参考になったと考えているのか、実施した研修内容が実際にどのように活かされているかなどを実績として明らかにしておく必要があると考える」。課題や反省が明らかでなければ、今後の改善も発展もないことを認識する必要がある。たとえば、新任職員研修会が中止となり資料送付のみとなったことについて、県立図書館としては「全く問題がなかった」という自己評価なのかと素朴に疑問である。

3 図書館協議会による図書館運営全体に対する評価（委員長とりまとめ）

本協議会では、2021年2月4日付で意見書「新潟県立図書館の指定管理者制度の導入について（意見）」を図書館長に提出した。当該文書には、県立図書館の運営に関するPDCAサイクルを本協議会が適切に関与していると明記している。県立図書館には、本協議会の意見に対して適切に対応していただくことを希望する。

現状に関して高く評価できる事項は多々ある。例えば協議会委員からは、

- ・ 来館者へのサービスは丁寧である。
- ・ コロナ禍においても年間の合計貸出冊数が前年度比77%まで回復していることは、さまざまな創意工夫がなされた結果だと考える。
- ・ 資料購入費が削減されている中で、適切に時機を捉え、国の臨時交付金活用により蔵書の充実を行ったことは評価できる。
- ・ 蔵書構成・資料保存、県内図書館ネットワーク・相談体制充実等、県立図書館として求められる図書館像の実現を今後も期待している。

という意見が出されている。これらのことは、広く県民の方々にもご理解いただいていると考える。

そのうえで、以下に、

- (1) 令和2年度の運営に関する、重点事業評価以外の意見
- (2) 令和元年度の運営に関して提出した、図書館協議会の意見に対する「県立図書館の考え方」についての意見
- (3) 令和3年度からの運営基本指針・行動計画に関する意見
- (4) 「県有施設管理等検討委員会 議事録」と関連する意見
- (5) 図書館協議会の適切な運営に関する意見

を順番に提示する。県立図書館は、本協議会とのやりとりを通して、誠実に、真摯に、業務に取り組んでいることを、県民の方々に対して十分に示して頂きたい。

- (1) 令和2年度の運営に関する、重点事業評価以外の意見
 - ① 予算が限られている状況と、コロナ禍の影響で、イベント等の実施は難しいと考える。このような状況だからこそ、図書館内の充実（資料の購入やHPの充実など）を最優先に行う必要があると考える。
 - ② 学校に対する情報発信が少ないように思われる。HPに学校用のページを設けるなど、学校向けの情報発信を行っていただきたい。
 - ③ 読書バリアフリー法の制定に伴い、県内の市町村図書館等に対して、視覚障害に関する普及啓発や関連機器利用のための講習会を実施するなど、県立図書館と新潟県視覚障害者情報センターとの連携に向けた取組みを期待している。
 - ④ 新潟県立女子短期大学の教授であった本間伸夫氏の膨大な蔵書を、民間の方が引き取り「食の図書館」を開設するというニュースがあちこちで報道されている。本間伸夫氏は、郷土食などの研究でも高名な方であり、氏の蔵書が公立図書館ではなく民間の所有となったことが大変残念である。オークションなどで、図書館に収蔵されていないような郷土資料（古書）が、まとめて出品されていたりすると、所有者であった研究者の方が整理なさったか逝去なさったのかと心が痛む。そのような貴重な資料の行方についても、注意を払っていただきたい。

(2) 令和元年度の運営に関して提出した、図書館協議会の意見に対する「県立図書館の考え方」についての意見

令和2年度第3回の新潟県立図書館協議会において、本協議会が令和元年度の運営に関して提出した意見に対する、県立図書館の考え方が記された資料「図書館評価（協議会意見）に対する当館の考え方」が配布された。

- ① 従来通りであれば、この資料は令和2年度の運営に関して協議をする第1回図書館協議会（9月開催）で配布・説明されるべきものであった。配布・説明されない理由の説明もなかった。令和元年度の運営に関する本協議会と図書館との意思疎通が、令和2年度末に行われる事態は、効果的なPDCAサイクルであるとは言えない。令和3年度に関しては従来通り、第1回の図書館協議会において、今般提出する図書館協議会の意見に対する県立図書館の考え方を説明していただくことを要望する。
- ② 令和元年度の運営に関する本協議会の意見に対する、「県立図書館の考え方」の以下の事項について、さらに検討と説明を求めたい。
 - (a) 本協議会による「臨時休館の経験を踏まえて、「意図・目的」に掲げている「インターネット等の電子媒体を活用した情報提供サービスの充実を図る」ことがより一層重要であるとする。」（「令和2年度新潟県立図書館年報」p. 39）とする意見に対して、図書館からは「令和2年度も、越後佐渡デジタルライブラリーや郷土人物・雑誌記事索引等の独自データベースの充実を図り、非来館型サービスの充実に取り組んだ。」との考え方が示された。本協議会によるこの意見は、「距離的理由や身体的理由などにより、来館が困難な利用者」を対象とする「事業名：広域サービスの充実」のもとに提出している。コロナ禍による突然の臨時休館という経験を踏まえて、非来館型の情報提供サービス（たとえば一般的には、HPでの情報発信、電子書籍の導入、SNSの活用など）の重要性を指摘したものであり、「考え方」として示された例年通りの独自データベース（越後佐渡デジタルライブラリー等）の充実に取り組む重要性を指摘しているわけではない。すなわち、協議会の意見と県立図書館の考え方はかみ合っていない。臨時休館という、過去に経験したことのない事態への対応として、新たにどのような情報提供サービスを検討し実施したのかについて、改めて回答していただきたい。今年度も協議会委員から「電子書籍は、若い人の需要はあると思われる」という意見が出されている。
 - (b) 「越後佐渡デジタルライブラリーにおける許諾なく利用できる画像等のパブリックドメイン、あるいは、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの明示」を求めたところ（「令和2年度新潟県立図書館年報」p. 39）、図書館からは「他県へも聞き取りを行ったが、当館では各参加館の事前了解を得ていないことが課題となっている。パブリックドメインやクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの明示については、引き続きできることを研究していきたい。」との考え方が示された。越後佐渡デジタルライブラリーは、「新潟県立図書館と新潟県立文書館が所蔵する上杉謙信以降400年間の新潟県関係歴史資料に加え、新潟県内図書館や博物館などの所蔵資料のデジタル画像」であり、県立図書館所蔵の資料も含まれている。少なくとも県立図書館の資料については、明示の判断が可能ではないだろうか。県立図書館の資料から明示を開始し、各参加館の了解を得る態勢を整えればよいのではないだろうか。「引き続きできることを研究」とあるが、具体的には引き続き何を「研究」する予定なのか、また、いつ頃を目途に明示を開始するのかを具体的に示していただきたい。ただし、協議会として求めているのは「研究」ではなく「実践」で

あることは申し添えておきたい。令和3年度からも「越後佐渡デジタルライブラリー」の画像数等の増加を計画しているが、デジタル画像の蓄積だけではなく、利用者の要望を踏まえた「活用の利便性を高める取り組み」にも努めていただきたい。なお、本件については、今年度も協議会委員から要望が出されている。

(3) 令和3年度からの運営基本指針・行動計画に関する意見

令和3年度からの運営基本指針・行動計画について、以下のような意見が出されている。それぞれについて対応していただきたい。

1. 地域社会への貢献

- ① 県庁への貸出冊数について、現状値（令和2年度）の約50冊を令和3年度には100冊とする計画である。倍増させるために、一般には手続きの簡素化や迅速化などが考えられるが、具体的にはどのような新たな方策が実施されるのか。
- ② 禁帯出の図書について、著作権に問題のないものをできるだけ多くデジタル化して、デジタルライブラリーから読めるようにしていただきたい。

2. 県内図書館への貢献

- ① 県内市町村の財政事情が厳しく、市町村立図書館等での蔵書の充実が困難な状況にある。県全体の読書環境の向上のために、協力貸出（県立図書館から県内市町村図書館等への貸出）に関する県民へのPRを進めていただきたい。
- ② コロナ禍の状況と予算とを踏まえて、訪問回数を現状値の倍以上とすることが適切かどうかの再検討が必要である。
- ③ 「新潟県内小規模図書館等セット図書長期一括貸出」について、学校も貸出対象とすることで、生徒らの利用促進に繋がると思われる。

3. 県民の生涯にわたる学びへの貢献

- ① SNSによる情報発信は重要であり期待しているが、SNSの記事掲載回数（目標値）が令和3年度は24回となっており、月2回の更新ということになる。HPの更新ではあり得るが、SNSは短い文章で、情報を頻繁に発信する方が効果的である。24回では少ない。情報発信の頻度を増やす必要がある。（例えば、図書館施設の周辺の情報や、新着図書の案内なども発信してはどうか。）
- ② たとえば、「#閲覧室テーマ展示」というようにハッシュタグを付して、館内のテーマ展示の内容を発信しておけば、利用しやすく、情報の蓄積にもなる。ぜひハッシュタグも活用していただきたい。
- ③ 必ずしも、全ての県民がインターネットを日常的に利用しているわけではないことを想定した情報発信も必要である。
- ④ 館内の情報発信はよく行われているが、館外へのサービスや資料等に関する情報発信が十分でないため、充実する必要がある。

4. その他（「新規登録者数」を指標とすることについて）

「新規登録者数」は、コロナ禍以前から減少し続けている。行動計画では「新規登録者数」を指標

としていないが、指標とし、目標値を定めて、新規登録者を増やす具体的な取組み（例えば Web サイトのさらなる充実など）を明示的に実施する必要があると考える。第3回の協議会では図書館長より「新規登録者数はデータとしては追っていない」との説明があったが、その理由は明らかにされなかった。再度の検討を求めたい。あるいは、なぜ「新規登録者数」を指標としなかったのか、納得の得られるような説明を求めたい。

（4）「県有施設管理等検討委員会 議事録」に関する意見

令和2年度第3回の新潟県立図書館協議会において、県のHPで公開されている「県有施設管理等検討委員会 議事録」の抜粋が配布された。その内容を踏まえて、以下の事項を指摘する。

- ① 「県民の多様なニーズをどのように把握するのか」という委員の質問に対して、生涯学習推進課は「来館者アンケートは定期的になかなか取っていないという実情がある」（p. 64）と回答している。県民のニーズを把握するために、来館者アンケート等の調査を実施することは必要不可欠であると考え。調査を定期的に行い、把握したニーズを運営等に反映するべきである。
- ② 生涯学習推進課は、県立図書館が「専門的、調査研究に資するもの〔中略〕専門的要素を取り込んだものを、より多く収集するという方針を掲げている」と説明している（p. 65）。図書館のHPで公開されている「新潟県立図書館資料収集方針」（平成26年3月1日改正）では、実用書に関する収集の段階を「収集する」としているが、資料費の削減に応じて見直す必要があると考える。この機に、平成26年以降の状況を踏まえた資料収集方針の再検討及び必要な改正を求めたい。
- ③ 「新潟県立図書館資料収集方針」（平成26年3月1日改正）には、「（6）北東アジア地域の国際交流を促進する。本県が、日本海を取り囲む北東アジア地域の国際交流の拠点として発展していくことに資するため、特定テーマとして北東アジア地域に関する資料を収集する。」とあるが、少なくとも過去5年間の協議会の限りにおいて、「北東アジア地域に関する資料」のコレクションについて説明を受けたことはなかった。当該テーマのコレクションの意義や活用事例、今後の展望等について、本協議会を通して、県民に対する説明を求めたい。
- ④ 新潟市との連携について、生涯学習推進課は「もう少しきめ細かく議論する必要性は、今あるのかなと感じている」と説明している（p. 65）。また、委員からも「連携という視点で役割分担を検討していく必要がある」との意見が出されている（p. 65）。一般に、県立図書館は市立図書館との「二重行政」ではないかという批判的な議論もあることから、新潟市立図書館との連携や機能分担について、両者でのきめ細かい協議が必要であると考え。合わせて、県立大学図書館との所蔵資料の重複状況を踏まえて、連携について協議していく必要があるとも考える。協議の成果として、県立図書館において見直しが必要な事業やサービスが明らかになるはずである。例えば「県立図書館による団体貸出サービス（令和2年度の登録団体数7、送料は施設・団体の負担）は、新潟市立図書館の団体貸出と何が違うのか」という疑問について、どのような説明がなされるのであろうか。
- ⑤ 「他県の図書館の収支状況や利用率というのは、県立図書館と比べるとどんな感じ〔か〕」という委員からの質問に対して、生涯学習推進課の説明は客観的なデータにもとづくものではなかった（p. 66）。委員からは「他県の県立図書館の、収支状況とか利用率は一度見てもいいのでは（p. 67）」「熊本の図書館とかですね、岡山の図書館とかですね、比較してどうなんだろうとか、〔中略〕神奈川県立図書館と比べて〔中略〕どうなんだろうか」というのは一つの見方だと思

ます。(p.75)」という意見が出されている。県立図書館の現状について、客観的なデータにもとづく他県と比較した分析が必要である。本協議会や県民が県立図書館に関する理解を深めるために、分析結果は是非説明していただきたい。

(5) 図書館協議会の適切な運営に関する意見

- ① 図書館協議会は、年2回開催され、協議は2時間程度である。この極めて限られた回数と時間で、効率よく実りある機会とするためには、当日の進行はもとより、事前の準備も不可欠である。令和2年度第3回図書館協議会では、大量の資料が当日になって配布されたうえに、必ずしも要領よく説明されたとは言い難い状況であった。以下の3点に努めるよう希望する。
 - ・ 資料は従来通り、少なくとも一週間前には委員に送付されること、
 - ・ より精選された資料としていただくこと、
 - ・ 協議会当日は、要領よく分かりやすく説明していただくこと、協議会という機会を通して広く県民に対して、分かりやすく説明する工夫をしていただきたいということである。第3回図書館協議会で配布された、若手有志職員により作成された資料は、大変分かりやすいものであったことも記しておく。
- ② 協議会の県民に対する公開性を高めるために、「図書館協議会議事録」のHP (https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page_id=291) には、配布資料も併せて公開されることを希望する。他の県立図書館、あるいは、県内の市立図書館において、議事録とともに配布資料を公開している事例はある。

最後に、第3回図書館協議会では、県の行財政改革の取組みとして、図書館を含めた県有施設の管理運営手法等の検討が令和3年度に行われるとの説明があった。この機会に図書館自身も、本協議会の指摘事項にとどまらず、業務全体を「ゼロベース」で見直すことを強く希望する。なお、本協議会は意見書に示した通り、「新潟県立図書館は、県職員である司書によって運営すること（県直営施設であること）が必要であり、指定管理者制度の導入等による民営化の検討対象とはならない」と考えており、すなわち、現在の県直営の運営形態を全面的に支持していることを、改めてここに表明しておく。

以上

休館日

- ◆月曜日（その日が祝日に当たるときは、開館。）
- ◆年末年始
- ◆蔵書点検期間

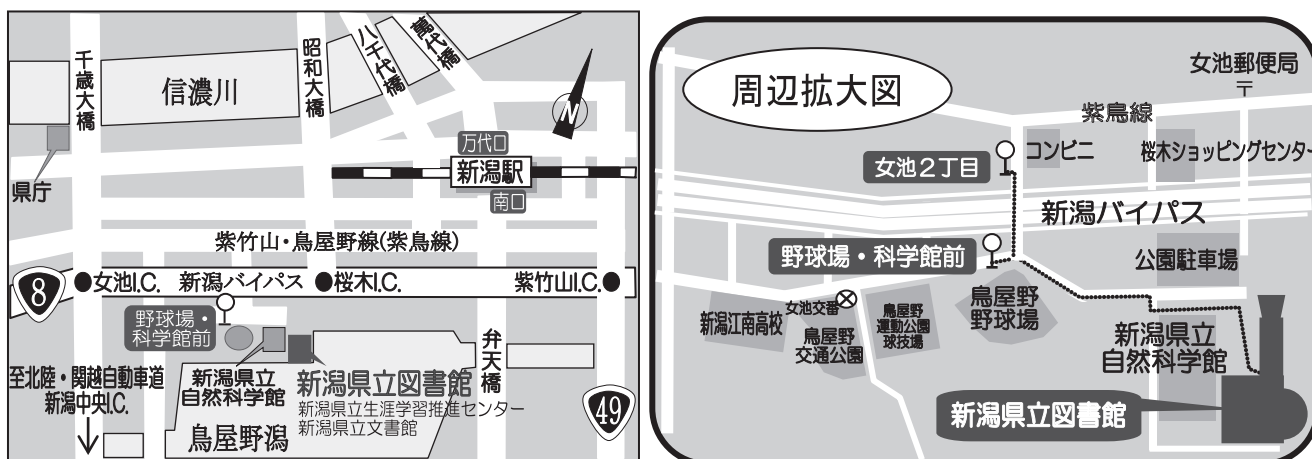
開館時間

- ◆火～金曜日
午前9時30分～午後7時
- ◆土・日曜、祝日
午前9時30分～午後5時

貸出冊数と期間

ひとり10点（うちCDは2点）、2週間

地図



交通案内

◆JR新潟駅（南口）から

バス【女池愛宕】行き又は【江南高校経由市民病院】行きに乗車20～25分、
【野球場・科学館前】で下車徒歩8分。

*バスは、朝夕の通勤時間帯を除き、30分に1本程度です。

*新潟交通ホームページで、時刻表がご覧になれます。

<http://www.niigata-kotsu.co.jp/>

タクシー 新潟駅南口から15分程度です。

◆駐車場（無料）

公園駐車場をご利用ください。

*県立図書館の正面玄関前に「おもいやり駐車場区画」と「特定者専用駐車場」があります。

令和3年度
新潟県立図書館年報

令和3年8月10日 発行

発行 新潟県立図書館

〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号

TEL 025-284-6001

FAX 025-284-6832

ホームページアドレス <https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/>